

教科	国語	科目名	現代の国語	授業名	現代の国語	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	1	年次
指導目標												
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>												
教科書	東京書籍 新編現代の国語 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
<p>1. 添削指導 (レポート) : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題 : 全6回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導 (スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格 : 所定以上の得点を修めることが必要です。</p>												
単位修得 (認定) 評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出 〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)	
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導	
1 自己を見つける ①こそそめスープ ②ルリボシカミキリの青 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって筆者のものの見方や感じ方を読み取る力を身につける。	6~17	教科書授業インターネット講座 6~17	[確認テスト] ・1自己を見つける 【6/30】	第1回	4/14~6/30		
2 他者に出会う ①未来をつくる想像力 ②水の東西 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げる。	24~38	教科書授業インターネット講座 24~30、33~38	[確認テスト] ・2他者と出会う 【6/30】	第2回	4/14~6/30		
4 視野を広げる ①スキマが育む都市の緑と生命のつながり ②無彩の色 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、新しい着眼や発想に触れて、視野を広げる。	68~86	教科書授業インターネット講座 68~85	[確認テスト] ・4視野を広げる 【7/31】	第3回	4/28~7/31		
1、2、4 学習内容の総括		実施日		5/15	6/12		現代の国語①
5 社会と関わる ①鍋洗いの日々 ②森で染める人 ③真夏のひしこ漁 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考える。	94~115	教科書授業インターネット講座 94~115	[確認テスト] ・5社会と関わる 【7/31】	第4回	4/28~7/31		
7 世界とつながる ①美しさの発見 ②りんごのほっぺ [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、芸術や歴史の真実に触れ、周囲に広がる世界への理解を深める。	142~158	教科書授業インターネット講座 142~158	[確認テスト] ・7世界とつながる 【8/31】	第5回	5/19~8/31		

8 未来に目を向ける ①不思議な拍手 ②真の自立とは [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、多様な価値観に目を開き、社会の未来を考える力を身につける。	166～187	教科書授業インターネット 講座 166～175、179～187	[確認テスト] ・8未来に目を向ける 【8/31】	第6回	5/19～8/31		
5, 7, 8 学習内容の総括			実施日	7/8	7/10	8/28	現代の国語②
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		8/22～8/31の期間	

教科	国語	科目名	言語文化	授業名	言語文化	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	2	年次
指導目標												
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 「言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>												
教科書	東京書籍 新編言語文化 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全5回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)	
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導	
現代文編 1 随筆 生きる喜び さくらさくらさくら 「美しい」ということ 2 小説1 触れ合う心 とんかつ 雨漏りの音 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、筆者のものの見方や感じ方を読み取る力を身につける。	10~44	教科書授業インターネット講座 10~15、18~22、24~44	[確認テスト] ・ 1 随筆 ・ 2 小説1 【10/31】	第1回	9/1~10/31		
3 詩歌 命をうたう 柳あをめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た 少年の日 I was born [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、短歌・俳句および詩を学び、深く味わう力をつける。	50~65	教科書授業インターネット講座 50~65	[確認テスト] ・ 3 詩歌, 4 小説2 ・ 5 小説3 【11/30】	第2回	9/1~10/31		
4 小説2 葛藤する心 羅生門 5 小説3 現実の向こう側 夢十夜 デューク [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、小説の登場人物を通して、人の感情を汲み取る力を育む。疑似体験によって、自分の思考を深める。	72~116	教科書授業インターネット講座 72~86、94~103、 107~116		第3回	9/22~11/30		
小説編 (1~5) 学習内容の総括							実施日
古文編 2 随筆 日々の思い 徒然草 枕草子 古文学習のしるべ4 助動詞 助詞 3 詩歌 うたの心 折々のうた 万葉集 古文学習のしるべ5 和歌 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、昔の人の考え方を学ぶ。	138~168	教科書授業インターネット講座 138~152、154~166	[確認テスト] ・ 2 随筆 【11/30】	第4回	9/22~11/30	言語文化①	

<p>4 物語 古人の生き方 伊勢物語 平家物語 古文学習のしるべ6 敬語</p> <p>5 紀行 旅の心 奥の細道 旅立ち</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、古典作品から個人の生き方を学ぶ。</p>	170~195	<p>教科書授業インターネット 講座</p> <p>170~175、179~185、 188、190~195</p>	<p>[確認テスト] ・ 3 詩歌, 4 物語 ・ 5 紀行 【12/31】</p>	第 5 回	10/14~12/31		
<p>漢文編</p> <p>1 漢文入門 漢文に親しむ 訓読の基本 故事成語一三編</p> <p>2 漢詩 漢詩を味わう 絶句と律詩一七首 鹿柴</p> <p>3 論語 論語のことば 論語一八章</p> <p>4 史話 史話を楽しむ 史話一三編</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、訓点の種類と用法を学び、漢文を訓読する力を身につける。</p>	210~253	<p>教科書授業インターネット 講座</p> <p>210~218、220~225、 228~233、238~245、 248~253</p>	<p>[確認テスト] ・ 1 漢文入門 ・ 2 漢詩 ・ 3 論語, 4 史話 【12/31】</p>	第 6 回	10/14~12/31		
古文編（2～5）、漢文編（1～4）学習内容の総括				実施日			言語文化②
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)			

教科	国語	科目名	論理国語	授業名	論理国語 前期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	3	年次
指導目標												
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う												
教科書	東京書籍 新編論理国語 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全6回の合格が必要。必要です。 3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (必須)	対面指導						
1部 1 広がる風景 対話とは何か 世界をつくり替えるために ■論理の力を鍛えよう [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現の特徴に注意しながら筆者の考えを読み取る力を身につける。	7~24	教科書授業インターネット講座 8~24	[確認テスト] ・1部1① ・1部1② 【6/30】	第1回	4/14~6/30							
2 考える手がかり 少女たちの「ひろしま」 「ふしぎ」ということ [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、文章の構成や内容を的確に捉える力を身につける。	25~45	教科書授業インターネット講座 26~43	[確認テスト] ・1部2① ・1部2② 【6/30】	第2回	4/14~6/30							
3 人間と知性 学ぶことと人間の知恵 ラップトップ抱えた「石器人」 ■文章を読み比べるために [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、自分の考えを深める。	55~74	教科書授業インターネット講座 56~74	[確認テスト] ・1部3① ・1部3② 【7/31】	第3回	4/28~7/31							
1部 (1~3) 学習内容の総括、論理の力				実施日	5/29	6/26						論理国語前期①
4 現実の中で 思考の肺活量 安心について [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、問題を的確に把握する力を身につける。	76~91	教科書授業インターネット講座 76~91	[確認テスト] ・1部4① ・1部4② 【7/31】	第4回	4/28~7/31							
5 ものの見方 弱肉強食は自然の摂理か 複数の「わたし」 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、ものを見方を広げる。	102~121	教科書授業インターネット講座 102~121	[確認テスト] ・1部5① ・1部5② 【8/31】	第5回	5/19~8/31							
6 働くよるこび はじめに「言葉」がある 楽に働くこと、楽しく働くこと [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、さまざまな観点から書かれた働く人の文章を読み、働くことについて考える。	124~137	教科書授業インターネット講座 124~137	[確認テスト] ・1部6① ・1部6② 【8/31】	第6回	5/19~8/31							
1部 (4~6) 学習内容の総括、論理の力				実施日	7/29	7/31	8/28					論理国語前期②
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)				試験期間 (別途連絡)			8/22~8/31の期間				

教科	国語	科目名	論理国語	授業名	論理国語 後期	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	3	年次
指導目標												
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う</p>												
教科書	東京書籍 新編論理国語 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
<p>1. 添削指導 (レポート) : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題 : 全6回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導 (スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格 : 所定以上の得点を修めることが必要です。</p>												
単位修得 (認定) 評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出×切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (×切)	対面指導						
II部 1 時代をひらく 最初のペンギン 豊かさや生物多様性 [内容] 論理展開に注意して評論を読み、主として、メディア教材・添削課題によって、扱われる問題を的確に捉える力を身につける。	168~184	教科書授業インターネット講座 168~184	[確認テスト] ・ II部 1① ・ II部 1② 【10/31】	第1回	9/1~10/31							
2 新しい視点から 物語の外から カフェの開店準備 [内容] 体験に基づく文章を読み、主として、メディア教材・添削課題によって、筆者の考えを捉える力を身につける。	186~199	教科書授業インターネット講座 186~199	[確認テスト] ・ II部 2① ・ II部 2② 【10/31】	第2回	9/1~10/31							
3 科学と人間 鏡としてのアンドロイド ロボットが隣人になるとき [内容] 科学や哲学の見地から書かれた評論を読み、主として、メディア教材・添削課題によって、人間について考える。	210~227	教科書授業インターネット講座 210~227	[確認テスト] ・ II部 3① ・ II部 3② 【11/30】	第3回	9/22~11/30							
II部 (1~3) 学習内容の総括、論理の力を鍛える			実施日				論理国語後期①					
4 豊かな認識 言葉は「ものの名前」ではない 科学的「発見」とは [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、論じられている物事への認識を深める。	232~248	教科書授業インターネット講座 232~248	[確認テスト] ・ II部 4① ・ II部 4② 【11/30】	第4回	9/22~11/30							
5 知のゆくえ 知識における作者性と構造的性 もう一つの知性 [内容] 対比に注意して評論を読み、主として、メディア教材・添削課題によって、筆者の主張を的確に捉える力を身につける。	262~279	教科書授業インターネット講座 262~279	[確認テスト] ・ II部 5① ・ II部 5② 【12/31】	第5回	10/14~12/31							

6 明日をみつめて ①ホンモノのおカネの作り方 ②未来のありか [内容] 具体例と抽象的な説明に着目し、主として、メディア教材・添削課題によって、評論の内容を的確に読み取る力を身につける。	282～301	教科書授業インターネット 講座 282～301	[確認テスト] ・ II 部 6 ① ・ II 部 6 ② 【12/31】	第 6 回	10/14～12/31	
II 部（4～6）学習内容の総括、論理の力を鍛える			実施日			論理国語後期②
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)		試験期間 (別途連絡)			

教科	国語	科目名	古典探究	授業名	古典探究 前期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	3	年次
----	----	-----	------	-----	---------	-----	---	------	----	------	---	----

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍 新編古典探究 (701)	メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
-----	-------------------	--------	---------------------

単位修得条件

1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。
2. 報告課題：全6回の合格が必要。
3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。
4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。

単位修得（認定）評価

添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)	
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (必須)	対面指導	
古文編Ⅰ部 1. 説話に親しむ 宇治拾遺物語 十訓抄 2. 随筆を読む 徒然草 [内容] 説話や随筆を通じて、主として、メディア教材・添削課題によって、古文の世界に親しみ、表現や思想を深く理解する。	9~28	教科書授業インターネット講座 10~18、20~26	[確認テスト] ・古文編Ⅰ部まとめテスト① ・古文編Ⅰ部まとめテスト② 【6/30】	第1回	4/14~6/30		
2. 随筆を読む 方丈記 3. 作り物語を読む 竹取物語 4. 和歌の世界 小倉百人一首の世界 [内容] 随筆や作り物語を味わい、和歌の美しい世界を感じながら、主として、メディア教材・添削課題によって、古文の知識を深める。	29~52	教科書授業インターネット講座 29~30、32~37、40~50	[確認テスト] ・古文編Ⅰ部まとめテスト③ ・古文編Ⅰ部まとめテスト④ ・古文編Ⅰ部まとめテスト⑤ 【6/30】	第2回	4/14~6/30		
5. 日記を読む 土佐日記 更級日記 6. 軍記物語を味わう 平家物語 [内容] 日記文学と軍記物語を通じて、主として、メディア教材・添削課題によって、平安から鎌倉時代の文化や心情を理解する。	53~74	教科書授業インターネット講座 54~62、66~72	[確認テスト] ・古文編Ⅰ部まとめテスト⑥ ・古文編Ⅰ部まとめテスト⑦ 【7/31】	第3回	4/28~7/31		
古文編Ⅰ部 (1~6) 学習内容の総括				実施日	5/27	6/24	古典探究前期①
7. 近世文学の世界 世間胸算用 おらが春 古文編Ⅱ部 1. 随筆を味わう 枕草子 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、庶民の生活や文化に触れ、豊かな表現を学ぶ。	75~92	教科書授業インターネット講座 76~82、86~90	[確認テスト] ・古文編Ⅰ部まとめテスト⑧ ・古文編Ⅰ部まとめテスト⑨ ・古文編Ⅱ部まとめテスト① 【7/31】	第4回	4/28~7/31		

<p>2.歌物語を楽しむ 伊勢物語 大和物語</p> <p>3.歴史物語を読む 大鏡</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、平安時代の文化や和歌の深い意味に触れ、古典文学の豊かさを学ぶ。</p>	93～116	<p>教科書授業インターネット講座 94～105、108～114</p>	<p>[確認テスト] ・古文編Ⅱ部まとめテスト② ・古文編Ⅱ部まとめテスト③ 【8/31】</p>	第5回	5/19～8/31		
<p>4.歌話・歌論を読む 袋草紙 無名抄 古今和歌集仮名序</p> <p>5.作り物語を味わう 源氏物語</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、平安時代の文化、歌論の深層、そして物語の心情に触れ、古典文学を学ぶ。</p>	117～138	<p>教科書授業インターネット講座 118～121、123、126～135</p>	<p>[確認テスト] ・古文編Ⅱ部まとめテスト④ ・古文編Ⅱ部まとめテスト⑤ 【8/31】</p>	第6回	5/19～8/31		
古文編Ⅰ部（7）、古文編Ⅱ部（1～5）学習内容の総括			実施日	7/29	7/31	8/26	古典探究前期②
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		8/22～8/31の期間	

教科	国語	科目名	古典探究	授業名	古典探究 後期	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	3	年次
指導目標												
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う</p>												
教科書	東京書籍 新編古典探究 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全6回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)	
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導	
古文編Ⅱ部 6.俳諧に親しむ 近世俳句抄 去来抄 三冊子 7.伝承の世界 古事記 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、日本の文化や価値観、文学の表現を深く理解する。	139~156	教科書授業インターネット講座 140~147、150~155	[確認テスト] ・古文編Ⅱ部まとめテスト⑥ ・古文編Ⅱ部まとめテスト⑦ ・古文編Ⅱ部まとめテスト⑧ 【10/31】	第1回	9/1~10/31		
漢文編Ⅰ部 1.故事と小話 小話-四編 2.唐詩と文 唐詩-八首 文-二編 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、漢文を通じて中国の思想と文学表現を学び、表現力を深める。	157~180	教科書授業インターネット講座 158~163、166~180	[確認テスト] ・漢文編Ⅰ部まとめテスト① ・漢文編Ⅰ部まとめテスト② ・漢文編Ⅰ部まとめテスト③ ・漢文編Ⅰ部まとめテスト④ 【10/31】	第2回	9/1~10/31		
3.史記を読む 項羽と劉邦 4.中国の知恵 寓話-五編 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、古代中国の歴史と思想を学び、深く理解する。	181~206	教科書授業インターネット講座 182~194、198~206	[確認テスト] ・漢文編Ⅰ部まとめテスト⑤ 【11/30】	第3回	9/22~11/30		
古文編Ⅱ部 (6~7)、漢文編Ⅰ部 (1~4) 学習内容の総括				実施日			古典探究後期①
5.三国志の世界 十八史略 漢文編Ⅱ部 1.小話を読む 小話-三編 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、古代中国の歴史と文化を学び、漢文の理解を深める。	207~226	教科書授業インターネット講座 208~217、220~226	[確認テスト] ・漢文編Ⅰ部まとめテスト⑥ ・漢文編Ⅱ部まとめテスト① 【11/30】	第4回	9/22~11/30		

<p>2.古詩を味わう 古体詩－五首</p> <p>3.史記を味わう 廉頗と藺相如</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、古代中国の詩的表現と歴史的背景を深く理解する。</p>	227～248	<p>教科書授業インターネット講座 228～240、242～248</p>	<p>[確認テスト] ・漢文編Ⅱ部まとめテスト② 【12/31】</p>	第5回	10/14～12/31		
<p>漢文編Ⅱ部</p> <p>4.中国の思想 儒家と道家</p> <p>5.日本の漢詩文 詩－二首 信玄と謙信</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、古代中国の哲学と日本の漢詩文化を学ぶ。</p>	249～270	<p>教科書授業インターネット講座 250～259、262～263、 266～270</p>	<p>[確認テスト] ・漢文編Ⅱ部まとめテスト③ ・漢文編Ⅱ部まとめテスト④ 【12/31】</p>	第6回	10/14～12/31		
漢文編Ⅰ部（5）、漢文編Ⅱ部（1～3）、漢文編Ⅱ部（4～5）学習内容の総括				実施日			古典探究後期②
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)			

教科	地理歴史	科目名	地理総合	授業名	地理総合	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	1	年次
指導目標												
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かみ養われる日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。</p>												
教科書	東京書籍 地理総合 (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全5回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (必須)	対面指導
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私が暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、さまざまな地図の特徴や情報の表現方法を学び、地図と実際の地球の違いを理解し、領土や領域の概念を社会的事象と結びつけて考える力を育てる。	5~36	教科書授業インターネット講座 5, 8~13, 19, 22~29	[確認テスト] ・1編1章 確認テスト ・1編2章 確認テスト 【10/31】	第1回	9/1~10/31	
第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、交通機関や情報通信網の発展がもたらした社会の変化や、世界の文化・民族、国家群の課題、貿易の変化と日本の課題について学ぶ。	37~67	教科書授業インターネット講座 37, 40~49, 55, 58~66	[確認テスト] ・1編3章 確認テスト 【10/31】	第2回	9/1~10/31	
第1編、第2編第1章1節の学習内容の総括		実施日				地理総合①
2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、世界の大地形やプレートの動きを学び、外的影響が地形に与える影響や、地形・気候が人々の暮らしに与える影響を学ぶ。	68~91	教科書授業インターネット講座 68~90	[確認テスト] ・2編1章 確認テスト 【11/30】	第3回	9/22~11/30	
4節 生活文化と産業 第2章 さまざまな地球の課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、食生活や農業の地理的分布、工業の特色と立地、情報化が産業に与えた変化、環境・資源問題について学ぶ。	92~135	教科書授業インターネット講座 92~114, 121, 124~134		第4回	9/22~11/30	
3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、先進国と発展途上国の人口、都市、食料問題や、地球の課題、民族問題、持続可能な社会に向けた課題を学ぶ。	136~172	教科書授業インターネット講座 136~166	[確認テスト] ・2編2章 確認テスト 【12/31】	第5回	10/14~12/31	

第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、日本の地形と気候の特徴や自然災害とその関連、防災・減災のためにできること、地域調査の手法を学ぶ。	173～217	教科書授業インターネット講座 173, 176～196	[確認テスト] ・3編1章 確認テスト 【12/31】	第6回	10/14～12/31	
第2編第1章2節～4節、第2章、第3編の学習内容の総括			実施日			地理総合②
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		

教科	地理歴史	科目名	歴史総合	授業名	歴史総合	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	2	年次
指導目標												
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。												
教科書	東京書籍 新選歴史総合(701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
1. 添削指導(レポート) : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題 : 全6回の合格が必要です。 3. 面接指導(スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格 : 所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得(認定)評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用(必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間(必須)	対面指導
第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち 2節 歴史の特質と資料 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、18~19世紀の国際関係、産業革命の影響、東アジアの変化、工業化の進展を学ぶ。	7~51	教科書授業インターネット講座 7~10、20~29、32~33、36~37、42~49	[確認テスト] ・2章1節2節 確認テスト 【10/31】	第1回	9/1~10/31	
3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、市民革命の影響、欧米の進出と明治維新、立憲制の広がり、帝国主義と日本の植民地支配を学ぶ。	52~83	教科書授業インターネット講座 52~59、62~65、68~76	[確認テスト] ・2章3節4節 確認テスト 【10/31】	第2回	9/1~10/31	
第1章、第2章1節~4節の学習内容の総括						
第3章 国際秩序の変化や大衆化の私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、戦後の国際秩序、ロシア革命と資本主義の発展、民族運動と民主主義、大衆化とマスメディアの発展を学ぶ。	84~111	教科書授業インターネット講座 84~103、106~111	[確認テスト] ・3章1節2節 確認テスト 【11/30】	第3回	9/22~11/30	
3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、世界恐慌後のファシズムの台頭、戦争の拡大と国際秩序の変化、戦後の冷戦構造と地域の分断、日本の戦後の歩みを学ぶ。	112~141	教科書授業インターネット講座 112~113、116~129、132~141	[確認テスト] ・3章3節4節 確認テスト 【11/30】	第4回	9/22~11/30	
第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、冷戦の展開と地域紛争、戦後経済と社会変容、国際関係の変化、環境問題の深刻化を学ぶ。	142~169	教科書授業インターネット講座 142~155、158~163、166~169	[確認テスト] ・4章1節2節 確認テスト 【12/31】	第5回	10/14~12/31	
実施日						
歴史総合①						

3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、冷戦後の経済政策と社会変化、国際紛争と平和維持、グローバル化の進展と課題を学ぶ。	170～197	教科書授業インターネット講座 170～171、174～181、 184～195	[確認テスト] ・4章3節 確認テスト 【12/31】	第6回	10/14～12/31	
第3章、第4章の学習内容の総括			実施日			歴史総合②
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)		試験期間 (別途連絡)			

教科	公民	科目名	公共	授業名	公共	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	1	年次
指導目標												
<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>												
教科書	東京書籍 公共 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全6回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用（必須） 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング) 対面指導	
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (必須)		
第1部 「公共」のつら 第1章 公共的な空間をつくる私たち ー社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 ー共に生きるための倫理 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、青年期と自己形成、キャリアについて学習する。	7~35	教科書授業インターネット講座 10~25、30~35	[確認テスト] ・第1部第1章 ・第1部第2章 【6/30】	第1回	4/14~6/30		
第3章 公共的な空間における基本的原理 ー私たちの民主的な社会 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、他者とともにより望ましい社会を形成していく際の協働の方法や社会制度をつくる基礎となる考え方について学習する。	36~83	教科書授業インターネット講座 36~53、58~63、66~79	[確認テスト] ・第1部第3章 ・第2部第1章 【6/30】	第2回	4/14~6/30		
第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第2章 法の働きと私たち [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、法は私たちの生活にどのようにかわるのか、法や規範の意義と役割について学習する。	84~111	教科書授業インターネット講座 84~89、92~107	[確認テスト] ・第2部第2章 【7/31】	第3回	4/28~7/31		
第1部、第2部第1章~第2章の学習内容の総括				実施日	5/13	6/10	公共①
第3章 経済社会で生きる私たち [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、企業の経済活動や市場経済のしくみについて学習する。	112~145	教科書授業インターネット講座 112~145	[確認テスト] ・第2部第3章 【7/31】	第4回	4/28~7/31		
第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1 国際社会のルールとしくみ テーマ2 国際社会と平和主義 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、働くことの意義と職業選択、日本の平和と安全について知識を身につける。	146~173	教科書授業インターネット講座 146~173	[確認テスト] ・第2部第4章 【8/31】	第5回	5/19~8/31		

<p>第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ3 国際平和への課題 テーマ4 グローバル化する国際経済</p> <p>第3部 持続可能な社会づくりに参画するために [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、平和な国際社会に向けて日本が果たすべき役割とは何かを学習する。</p>	174～212	教科書授業インターネット 講座 174～195	[確認テスト] ・第2部第5章 【8/31】	第6回	5/19～8/31			
第2部第3章～第5章の学習内容の総括				実施日	7/8	7/10	8/26	公共②
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		8/22～8/31の期間		

教科	公民	科目名	倫理	授業名	倫理	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	3	年次
指導目標												
<p>人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。</p> <p>(3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</p>												
教科書	東京書籍 倫理 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全6回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出≠切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (≠切)	対面指導						
第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 1章 人間の心のあり方 1節 人間とは何か 2節 人間の心の働き 2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、人間とは何か、人間の心の働きについて知識を身につける。	7~42	教科書授業インターネット講座 8~20、24~41	[確認テスト] ・第1編確認テスト① ・第1編確認テスト② ・第1編確認テスト③ ・第1編確認テスト④ 【6/30】	第1回	4/14~6/30							
2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、宗教とは何か、宗教がどのように生まれ、社会に影響を与えたかについて知識を身につける。	43~81	教科書授業インターネット講座 43~64、67~77	[確認テスト] ・第1編確認テスト⑤ ・第1編確認テスト⑥ ・第1編確認テスト⑦ ・第1編確認テスト⑧ 【6/30】	第2回	4/14~6/30							
3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、近代の人間尊重の精神がどのように生まれ社会に影響を与えたかについて知識を身につける。	82~120	教科書授業インターネット講座 82~120	[確認テスト] ・第1編確認テスト⑨ ・第1編確認テスト⑩ ・第1編確認テスト⑪ ・第1編確認テスト⑫ ・第1編確認テスト⑬ 【7/31】	第3回	4/28~7/31							
第1編1章~3章5節までの学習内容の総括				実施日	5/27	6/24						倫理①
6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり 4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、人間観・言語観の問い直し、他者・自然とのかかわり、日本人の精神風土について知識を身につける。	121~156	教科書授業インターネット講座 121~130、132~140、148~156	[確認テスト] ・第1編確認テスト⑭ ・第1編確認テスト⑮ 【7/31】	第4回	4/28~7/31							

<p>2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、仏教と日本人の思想形成、儒教と日本人の思想形成、国学の思想、庶民の思想、西洋思想と日本人の近代化について知識を身につける。</p>	157～198	教科書授業インターネット講座 157～181、183～197	<p>[確認テスト] ・第1編確認テスト⑮ ・第1編確認テスト⑰ ・第1編確認テスト⑱ ・第1編確認テスト⑳ ・第1編確認テスト㉑ 【8/31】</p>	第5回	5/19～8/31		
<p>7節 国際社会に生きる日本人の自覚</p> <p>第2編 現代の諸課題と倫理 1節 生命 2節 自然 3節 科学技術 4節 福祉 5節 文化と宗教 6節 戦争と平和</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、現代の諸課題を中心に知識を身につける。</p>	199～235	教科書授業インターネット講座 199～202、206～235	<p>[確認テスト] ・第1編確認テスト㉒ ・第2編確認テスト① ・第2編確認テスト② ・第2編確認テスト③ 【8/31】</p>	第6回	5/19～8/31		
第1編第3章6節～第4章、第2編の学習内容の総括			実施日	7/29	7/31	8/26	倫理②
学習到達度確認試験		出題範囲 (教科書、添削課題の内容)		試験期間 (別途連絡)		8/22～8/31の期間	

教科	公民	科目名	政治・経済	授業名	政治・経済	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	3	年次
指導目標												
社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。												
教科書	東京書籍 政治・経済 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全6回の合格が必要です。 3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (必須)	対面指導
第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原理解 2節 日本国憲法の基本原理解 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、民主政治の基本原理解、日本国憲法の特徴、日本の平和主義、基本的人権の保障、憲法改正の論点について学び、考察する。	4~47	教科書授業インターネット講座 4~47	[確認テスト] ・第1編 確認テスト①、②、③、④、⑤、⑥、⑦ 【10/31】	第1回	9/1~10/31	
3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、立法・行政・地方自治のしくみ、現代政治の課題、主権者としての役割について学び、考察する。	48~79	教科書授業インターネット講座 48~78	[確認テスト] ・第1編 確認テスト⑧、⑨、⑩、⑪、⑫ 【10/31】	第2回	9/1~10/31	
第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、資本主義経済の発展、現代経済のしくみ、金融・財政の役割、経済の課題について学び、考察する。	80~118	教科書授業インターネット講座 80~118	[確認テスト] ・第1編 確認テスト⑬、⑭、⑮、⑯ 【11/30】	第3回	9/22~11/30	
第1編第1章、第2章1節~2節の学習内容の総括						
3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、日本経済の発展と課題、公害と環境保全、労働と社会保障のしくみを学び、現代経済の変化や課題について主体的に考察する。	119~155	教科書授業インターネット講座 119~155	[確認テスト] ・第1編 確認テスト⑰、⑱、⑲、⑳ 【11/30】	第4回	9/22~11/30	政治・経済①
第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、現代日本や国連の課題を把握し、近現代の国際秩序や軍縮問題を学び、国際社会と日本の課題について、主体的に考え、説明できる力を養う。	156~203	教科書授業インターネット講座 156~203	[確認テスト] ・第1編 確認テスト㉑ ・第2編 確認テスト①、② 【12/31】	第5回	10/14~12/31	

第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、貿易や国際収支のしくみと課題、戦後の国際経済体制や発展途上国の現状を学び、グローバル化する世界経済や国際社会の課題を把握し、解決策を考察できる力を養う。	204～254	教科書授業インターネット講座 204～249	[確認テスト] ・第2編 確認テスト③、④ 【12/31】	第6回	10/14～12/31	
第2章3節～4節、第3章、第2編の学習内容の総括			実施日			政治・経済②
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)		試験期間 (別途連絡)			

教科	数学	科目名	数学Ⅰ	授業名	数学Ⅰ 前期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	1 年次
指導目標											
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。											
教科書	東京書籍・新数学Ⅰ教科書編(704)・新数学Ⅰ解答編(705)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件											
1. 添削指導(レポート) : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題: 全6回の合格が必要。必要です。 3. 面接指導(スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格 : 所定以上の得点を修めることが必要です。											
単位修得(認定)評価											
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。											
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用(必須) 【報告課題提出×切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)					
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間(×切)	対面指導					
数の計算 1. 整数の計算 2. 小数・分数の計算 3. 計算の利用 ①計算の工夫 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、基礎的な計算のしかたを定着させる。	4~19	教科書授業インターネット講座 4~19	[小テスト] 別途指示 【6/30】	第1回	4/14~6/30						
数の計算 3. 計算の利用 ②割合 ③速さ ④単位 ⑤四捨五入、見積り 4. 正負の数の計算 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、基礎的な計算のしかたを定着させる。	20~29	教科書授業インターネット講座 20~29	[小テスト] 別途指示 【6/30】	第2回	4/14~6/30						
1章 数と式 1節 文字と式 ①文字を使った式 ②多項式と単項式 ③多項式の計算(1) [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、①~③の力を身に付ける。	32~37	教科書授業インターネット講座 32~37	[小テスト] 別途指示 【7/31】	第3回	4/28~7/31						
数の計算、1章1節文字と式①~③の学習内容の総括				実施日	5/14	6/12					
1章 数と式 1節 文字と式 ④多項式の計算(2) ⑤乗法公式 ⑥因数分解(1) ⑦因数分解(2) ⑧展開、因数分解のくふうと利用 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、④~⑧の力を身に付ける。	38~47	教科書授業インターネット講座 38~47	[小テスト] 別途指示 【7/31】	第4回	4/28~7/31						
1章 数と式 2節 実数 ①平方根 ②根号をふくむ式の計算 ③数の分類 ④分数と小数 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、①~④の力を身に付ける。	48~57	教科書授業インターネット講座 48~57	[小テスト] 別途指示 【8/31】	第5回	5/19~8/31						
1章 数と式 3節 方程式と不等式 ①1次方程式 ②不等式 ③不等式の性質 ④不等式の解 ⑤不等式の解き方 ⑥2次方程式とその解き方 ⑦2次方程式の解の公式 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、①~⑦の力を身に付ける。	58~71	教科書授業インターネット講座 58~71	[小テスト] 別途指示 【8/31】	第6回	5/19~8/31						
1章1節文字と式④~⑧、2節実数、3節方程式と不等式の学習内容の総括				実施日	7/8	7/10	8/28				
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)				試験期間 (別途連絡)		8/22~8/31の期間				

教科	数学	科目名	数学Ⅰ	授業名	数学Ⅰ 前期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	1	年次
指導目標												
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>												
教科書	東京書籍・新数学Ⅰ教科書編(704)・新数学Ⅰ解答編(705)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
<p>1. 添削指導(レポート) : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題 : 全6回の合格が必要。</p> <p>3. 面接指導(スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格 : 所定以上の得点を修めることが必要。</p>												
単位修得(認定)評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用(必須) 【報告課題提出 べ 切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間(べ切)	対面指導
2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、2次関数の力を身につける。	74~91	教科書授業インターネット講座 74~91	[小テスト] 別途指示 【10/31】	第1回	9/1~10/31	
2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、2次関数の力を身につける。	92~101	教科書授業インターネット講座 92~101	[小テスト] 別途指示 【10/31】	第2回	9/1~10/31	
3章 三角比 1節 鋭角の三角比 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、三角比のしくみを理解し、使い方を身につける。	104~116	教科書授業インターネット講座 104~116	[小テスト] 別途指示 【11/30】	第3回	9/22~11/30	
2章1節、2節、3章1節の学習内容の総括		実施日				数学Ⅰ後期①
3章 三角比 2節 三角比の応用 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、三角比を活用しての三角形の面積や辺、角の大きさを求める方法を身につける。	117~127	教科書授業インターネット講座 117~127	[小テスト] 別途指示 【11/30】	第4回	9/22~11/30	
4章 データの分析 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、データ分析を活用する力を身につける。	130~147	教科書授業インターネット講座 130~147	[小テスト] 別途指示 【12/31】	第5回	10/14~12/31	
5章 集合と論証 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、集合と命題を理解し、論理的に問題を解く力を身につける。	150~160	教科書授業インターネット講座 150~160	[小テスト] 別途指示 【12/31】	第6回	10/14~12/31	
3章2節、4章、5章の学習内容の総括		実施日				数学Ⅰ後期②
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		

教科	数学	科目名	数学Ⅱ	授業名	数学Ⅱ 前期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	2	年次	
指導目標													
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。													
教科書		東京書籍 ・新数学Ⅱ教科書編(717) ・新数学Ⅱ解答編(718)			メディア教材		東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件													
1. 添削指導(レポート) : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題 : 全6回の合格が必要で。す。 3. 面接指導(スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格 : 所定以上の得点を修めることが必要です。													
単位修得(認定)評価													
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。													
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用(必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)							
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間(〆切)	対面指導							
1章 方程式・式と証明 1節 式の計算 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、代数の重要な公式と計算方法を理解し、複雑な式を扱える力を身につける。	4~11	教科書授業インターネット講座 4~11	[確認テスト] ・1章 確認テスト① ・1章 確認テスト② 【6/30】	第1回	4/14~6/30								
1章 方程式・式と証明 2節 2次方程式 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、複素数の理解と応用を深め、2次方程式の解法を身につける。	12~19	教科書授業インターネット講座 12~19	[確認テスト] ・1章 確認テスト③ ・1章 確認テスト④ 【6/30】	第2回	4/14~6/30								
1章 方程式・式と証明 3節 高次方程式 4節 式と証明 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、多項式の計算と証明技法を学び、高次方程式を解く力を身につける。	20~32	教科書授業インターネット講座 20~31	[確認テスト] ・1章 確認テスト⑤ ・1章 確認テスト⑥ 【7/31】	第3回	4/28~7/31								
1章1節~4節の学習内容の総括			実施日	5/22	6/19			数学Ⅱ前期①					
2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、座標平面における直線の特性を学び、座標を使って図形の距離や位置を求める力を身につける。	34~51	教科書授業インターネット講座 34~51	[確認テスト] ・2章 確認テスト① ・2章 確認テスト② ・2章 確認テスト③ ・2章 確認テスト④ 【7/31】	第4回	4/28~7/31								
2章 図形と方程式 2節 円と方程式 3節 軌跡と領域 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、円と直線、軌跡の関係を学ぶ。	52~64	教科書授業インターネット講座 52~63	[確認テスト] ・2章 確認テスト⑤ ・2章 確認テスト⑥ ・2章 確認テスト⑦ 【8/31】	第5回	5/19~8/31								
3章 三角関数 1節 三角関数 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、三角関数の基本を学ぶ。	66~77	教科書授業インターネット講座 66~77	[確認テスト] (テスト必須) ・3章 確認テスト① ・3章 確認テスト② ・3章 確認テスト③ 【8/31】	第6回	5/19~8/31								
2章1節~3節、3章1節の学習内容の総括			実施日	7/15	7/17	8/28			数学Ⅱ前期②				
学習到達度確認試験		出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		8/22~8/31の期間						

教科	数学	科目名	数学Ⅱ	授業名	数学Ⅱ 後期	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	2	年次
----	----	-----	-----	-----	--------	-----	---	------	----	------	---	----

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

教科書	東京書籍 ・新数学Ⅱ教科書編(717) ・新数学Ⅱ解答編(718)	メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
-----	-----------------------------------	--------	---------------------

単位修得条件

1. 添削指導(レポート) : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。
2. 報告課題 : 全6回の合格が必要。
3. 面接指導(スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要。
4. 学習到達度確認試験の合格 : 所定以上の得点を修めることが必要。

単位修得(認定)評価

添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用(必須) 【報告課題提出 べ 切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間(べ切)	対面指導
3章 三角関数 2節 加法定理 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、三角関数の加法定理や弧度法を学ぶ。	78~84	教科書授業インターネット講座 78~83	[確認テスト] ・3章 確認テスト④ ・3章 確認テスト⑤ 【10/31】	第1回	9/1~10/31	
4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、指数法則や指数関数を学ぶ。	86~95	教科書授業インターネット講座 86~95	[確認テスト] ・4章 確認テスト① ・4章 確認テスト② 【10/31】	第2回	9/1~10/31	
4章 指数関数と対数関数 2節 対数関数 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、指数と対数の関係を学ぶ。	96~104	教科書授業インターネット講座 96~103	[確認テスト] ・4章 確認テスト③ ・4章 確認テスト④ 【11/30】	第3回	9/22~11/30	
3章2節、4章の学習内容の総括		実施日				数学Ⅱ後期①
5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、微分の基本を理解し、変化率の計算や接線の求め方を学ぶ。	106~115	教科書授業インターネット講座 106~115	[確認テスト] ・5章 確認テスト① ・5章 確認テスト② 【11/30】	第4回	9/22~11/30	
5章 微分と積分 2節 導関数の応用 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、増減表と極値を活用し、3次関数の性質を理解してグラフを描く。	116~123	教科書授業インターネット講座 116~123	[確認テスト] ・5章 確認テスト③ ・5章 確認テスト④ 【12/31】	第5回	10/14~12/31	
5章 微分と積分 3節 積分 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、積分の基本を学ぶ。	124~133	教科書授業インターネット講座 124~133	[確認テスト] ・5章 確認テスト⑤ ・5章 確認テスト⑥ ・5章 確認テスト⑦ 【12/31】	第6回	10/14~12/31	
5章の学習内容の総括		実施日				数学Ⅱ後期②
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		

教科	数学	科目名	数学A	授業名	数学A	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	1	年次
指導目標												
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>												
教科書	東京書籍 ・新数学A教科書編 (704) ・新数学A解答編 (705)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全3回の合格が必要。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (必須)	対面指導						
1章 場合の数と確率 1節 場合の数 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、場合の数を学び、集合や法則を活用して身近な問題を解決する方法を身につける。	4~21	教科書授業インターネット講座 4~21	[確認テスト] 1章 確認テスト 【10/31】	第1回	9/1~10/31							
1章 場合の数と確率 2節 確率 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、確率を学び、さまざまな試行の確率を計算し、可能性を数値で楽しむ方法を学ぶ。	22~38	教科書授業インターネット講座 22~37		第2回	9/1~10/31							
1章の学習内容の総括			実施日				数学A①					
2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎 2節 三角形の性質 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、平面図形の基礎を学び、三角形の性質を深く探求する。	40~57	教科書授業インターネット講座 32~57	[確認テスト] ・2章 確認テスト 【11/30】	第3回	9/22~11/30							
2章 図形の性質 3節 円の性質 4節 空間図形 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、図形の世界を広げ、円の性質や空間図形を探求する。	58~76	教科書授業インターネット講座 58~75		第4回	9/22~11/30							
3章 数学と人間の活動 1節 数や位置を表す 2節 数のつくりを調べる [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、数学の世界を広げ、数の基本やその関係を深く理解する。	78~91	教科書授業インターネット講座 78~91	[確認テスト] ・3章 確認テスト 【12/31】	第5回	10/14~12/31							
3章 数学と人間の活動 3節 はかる 4節 数学で遊ぶ [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、数学の世界を遊びながら学び、古代の知恵を現代に活かす方法を探求する。	92~108	教科書授業インターネット講座 92~108-2		第6回	10/14~12/31							
2章、3章の学習内容の総括			実施日				数学A②					
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)								

教科	理科	科目名	科学と人間生活	授業名	科学と人間生活	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	1	年次
指導目標												
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。												
教科書	東京書籍 科学と人間生活 (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全6回の合格が必要でです。 3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用（必須） 【報告課題提出×切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (×切)	対面指導						
1編 生命の科学 1章 微生物とその利用 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、微生物の身近な存在を学び、種類や役割を学ぶ。微生物の発見の歴史や、食品・薬との関係を探求し、その重要性を考える力を養う。	14～37	教科書授業インターネット講座 14～35	[確認テスト] ・1編1章確認テスト 【10/31】	第1回	9/1～10/31							
2編 物質の科学 1章 材料とその再利用 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、金属やプラスチックの身近な存在を探し、その性質や再利用の仕組みを学ぶことで、環境への配慮を深め、資源の有効活用について考える力を養う。	66～93	教科書授業インターネット講座 66～91	[確認テスト] ・2編1章確認テスト 【10/31】	第2回	9/1～10/31							
1編の学習内容の総括①			実施日				科学と人間生活①					
1編の学習内容の総括②			実施日				科学と人間生活②					
2編の学習内容の総括①			実施日				科学と人間生活③					
2編の学習内容の総括②			実施日				科学と人間生活④					
3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、光や電磁波の性質や利用方法を学び、私たちの生活との関わりを探ることで、科学的な理解を深め、身近な現象を理論的に考察する力を養う。	116～137	教科書授業インターネット講座 116～135	[確認テスト] ・3編1章確認テスト 【11/30】	第3回	9/22～11/30							
3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、熱やエネルギーの基本的な仕組みを学び、身近な事例を通じて熱の伝わり方やエネルギー変換の理解を深め、エネルギーの効率的な使用方法を考える力を養う。	138～157	教科書授業インターネット講座 138～155	[確認テスト] ・3編2章確認テスト 【11/30】	第4回	9/22～11/30							
4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、潮の満ち引きや天気などの自然現象、気象や環境問題について学ぶ。	158～179	教科書授業インターネット講座 158～177	[確認テスト] ・4編1章確認テスト 【12/31】	第5回	10/14～12/31							
4編 宇宙や地球の科学 2章 自然景観と自然災害 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、身近な自然景観や自然災害の仕組みを学ぶ。	180～207	教科書授業インターネット講座 180～205	[確認テスト] ・4編2章テスト 【12/31】	第6回	10/14～12/31							
3編の学習内容の総括①			実施日				科学と人間生活⑤					
3編の学習内容の総括②			実施日				科学と人間生活⑥					
4編の学習内容の総括①			実施日				科学と人間生活⑦					
4編の学習内容の総括②			実施日				科学と人間生活⑧					
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)								

教科	理科	科目名	生物基礎	授業名	生物基礎	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	2	年次
指導目標												
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。												
教科書	東京書籍・新編生物基礎(702)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
1. 添削指導(レポート) : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題 : 全6回の合格が必要です。 3. 面接指導(スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格 : 所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得(認定)評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用(必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)		
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間(※)	対面指導		
1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、生物の知識を身につける。	10~37	教科書授業インターネット講座 10~21、24~35	[確認テスト] 1編 ・1章テスト ・2章テスト 【6/30】	第1回	4/14~6/30			
2編 遺伝子とのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 2章 遺伝情報とタンパク質の合成 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、遺伝子の知識を身につける。	42~71	教科書授業インターネット講座 42~55、58~69	[確認テスト] 2編 ・1章テスト ・2章テスト 【6/30】	第2回	4/14~6/30			
生物の多様性と共通性、生物とエネルギーの学習内容の総括				実施日	5/22	6/19	生物基礎①	
遺伝子情報とDNA、遺伝子情報とタンパク質の合成の学習内容の総括				実施日	5/22	6/19	生物基礎②	
水辺の植生や生物の観察				実施日	5/22	6/19	生物基礎③	
自然観察のまとめと考察				実施日	5/22	6/19	生物基礎④	
3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、体の調節の知識を身につける。	76~99	教科書授業インターネット講座 76~97	[確認テスト] 3編 ・1章テスト 【7/31】	第3回	4/28~7/31			
3編 ヒトの体の調節 2章 免疫のはたらき [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、免疫のはたらきの知識を身につける。	100~117	教科書授業インターネット講座 100~115	[確認テスト] 3編 ・2章テスト 【7/31】	第4回	4/28~7/31			
4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、植生と遷移の知識を身につける。	122~143	教科書授業インターネット講座 122~141	[確認テスト] 4編 ・1章テスト 【8/31】	第5回	5/19~8/31			
4編 生物の多様性と生態系 2章 生態系と生物の多様性 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、生態系の知識を身につける。	144~165	教科書授業インターネット講座 144~163	[確認テスト] 4編 ・2章テスト 【8/31】	第6回	5/19~8/31			
ヒトの体を調節するしくみ、免疫のはたらきの学習内容の総括				実施日	7/15	7/17	8/28	生物基礎⑤
植生と遷移、生態系と生物の多様性の学習内容の総括				実施日	7/15	7/17	8/28	生物基礎⑥
水辺の植生や生物の観察				実施日	7/15	7/17	8/28	生物基礎⑦
自然観察のまとめと考察				実施日	7/15	7/17	8/28	生物基礎⑧
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		8/22~8/31の期間		

教科	保健体育	科目名	体育	授業名	体育Ⅰ 前期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	1	年次
指導目標												
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。												
教科書	大修館 現代高等保健体育 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座 NHK高校講座						
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全6回の合格が必要。必要です。 3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出×切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (×切)	対面指導						
<<体育編>> 体育編1 単元 スポーツの発祥と発展 01 スポーツの始まりと変遷 特設① 世界の民族スポーツについて調べてみよう 02 文化としてのスポーツ 特設② 日本生まれのスポーツ 特設③ 競技スポーツにおける競争の意味 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、スポーツの歴史や文化的な役割を学び、競技スポーツの価値や意義について学習する。 <<体育実技編>> 陸上競技 [内容] 主に、メディア教材・報告課題によって、陸上競技の歴史や成り立ち、特徴や技術を学ぶ。	136~143	教科書授業インターネット講座 <<体育編>> 136~139 教科書授業インターネット講座 <<体育編>> 140~143 NHK高校講座 保健体育 6. スポーツの変遷とスポーツ文化 教科書授業インターネット講座 <<体育実技編>> 43~64	[報告課題] 別途指示 【8/31】 [報告課題] 別途指示 【8/31】 [報告課題] 別途指示 【8/31】	第1回	4/14~8/31							
<<体育編>> 03 オリンピックとパラリンピック 特設④ オリンピックの課題 特設⑤ パラリンピックの課題 04 スポーツが経済に及ぼす効果 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、スポーツの国際的な祭典とその課題、さらにスポーツが社会や経済に与える影響について学習する。 <<体育実技編>> 水泳競技 [内容] 主に、メディア教材・報告課題によって、水泳競技の歴史や成り立ち、特徴や技術を学ぶ。	144~149	教科書授業インターネット講座 <<体育編>> 144~147 教科書授業インターネット講座 <<体育編>> 148~資料1経済波及効果 NHK高校講座 保健体育 7. オリンピックとパラリンピックの意義 教科書授業インターネット講座 <<体育実技編>> 65~79	[報告課題] 別途指示 【8/31】 [報告課題] 別途指示 【8/31】 [報告課題] 別途指示 【8/31】	第2回	4/14~8/31							
【座学】スポーツの発祥と発展01~04の学習内容の総括							実施日	5/12	6/9	7/7		体育Ⅰ前期①
【実技】生涯スポーツとしての運動習慣づくり①							実施日	5/12	6/9	7/7		体育Ⅰ前期②
【実技】生涯スポーツとしての運動習慣づくり②							実施日	5/12	6/9	7/7		体育Ⅰ前期③
【実技】生涯スポーツとしての運動習慣づくり③							実施日	5/12	6/9	7/7		体育Ⅰ前期④
【実技】健康づくりのための多様な運動実践①							実施日				8/25	体育Ⅰ前期⑤
【実技】健康づくりのための多様な運動実践②							実施日				8/25	体育Ⅰ前期⑥
【実技】健康づくりのための多様な運動実践③							実施日				8/25	体育Ⅰ前期⑦
【実技】健康づくりのための多様な運動実践④							実施日				8/25	体育Ⅰ前期⑧

教科	保健体育	科目名	体育	授業名	体育Ⅰ 後期	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	1	年次
指導目標												
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわかって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>												
教科書	大修館 現代高等保健体育 (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座 NHK高校講座							
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全1回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全3回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2回以上出席することが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (必須)	対面指導
<<体育編>> 体育編1単元 スポーツの発祥と発展 05 スポーツの高潔さとドーピング 特設⑥ スポーツの価値について考えてみよう 特設⑦ なぜドーピングは許されないのか 06 スポーツと環境 特設⑧ スポーツとまちづくり [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、スポーツの倫理やドーピング問題を学び、環境との関わりや持続可能なスポーツのあり方を考察する。 <<体育実技編>> 器械運動 [内容] 主に、メディア教材・報告課題によって、器械運動の歴史や成り立ち、特徴や技術を学ぶ。	150~156	教科書授業インターネット講座 <<体育編>> 150~153 教科書授業インターネット講座 <<体育編>> 154~156 NHK高校講座 保健体育 8.スポーツの経済効果とスポーツの高潔さ	[報告課題] 別途指示 【12/31】 [報告課題] 別途指示 【12/31】 [報告課題] 別途指示 【12/31】	第1回	9/1~12/31	
【座学】 スポーツの発祥と発展05~06の学習内容の総括						体育Ⅰ後期①
【実技】 生涯スポーツとしての運動習慣づくり①						体育Ⅰ後期②

教科	保健体育	科目名	体育	授業名	体育Ⅱ 前期	単位数	1	履修期間	前期	履修年次	2	年次
指導目標												
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわかって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>												
教科書	大修館 現代高等保健体育 (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座 NHK高校講座							
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全1回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全3回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2回以上出席することが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導						
<p>≪体育編≫ 体育編2単元 運動・スポーツの学び方 01 スポーツにおける技能と体力 02 スポーツにおける技術と戦術 特設① スポーツルールはなぜ変わるのか考えよう 特設② スポーツとメディアの関係性 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、スポーツの技能や戦術を深く理解し、ルールの変化やメディアとの関わりについて学習する。</p> <p>≪体育実技編≫ バスケットボール [内容] 主に、メディア教材・報告課題によって、バスケットボールの歴史や成り立ち、特徴や技術を学ぶ。</p>	158～163	<p>教科書授業インターネット講座 ≪体育編≫ 158～163</p> <p>NHK高校講座 保健体育 13.スポーツにおける技能と体力</p> <p>NHK高校講座 保健体育 14.スポーツにおけるじ技術と戦術</p> <p>教科書授業インターネット講座 ≪体育実技編≫ 101～120</p>	<p>[報告課題] 別途指示 【8/31】</p> <p>[報告課題] 別途指示 【8/31】</p> <p>[報告課題] 別途指示 【8/31】</p>	第1回	4/14～8/31							
【座学】 運動・スポーツの学び方01～02の学習内容の総括			実施日	5/19	6/16	7/14						体育Ⅱ前期①
【実技】 健康維持と体力向上を目指す運動実践①			実施日	5/19	6/16	7/14						体育Ⅱ前期②
【実技】 健康づくりのための多様な運動実践①			実施日					8/26				体育Ⅱ前期③
【実技】 健康づくりのための多様な運動実践②			実施日					8/26				体育Ⅱ前期④

教科	保健体育	科目名	体育	授業名	体育Ⅱ 後期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	1	年次
指導目標												
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわかって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。												
教科書	大修館 現代高等保健体育 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座 NHK高校講座						
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全6回の合格が必要です。 3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)	
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導	
<<体育編>> 体育編2 単元 運動・スポーツの学び方 03 技能の上達過程と練習 特設③ 球技における戦術の特徴を比較してみよう 特設④ ゲームにおける戦術的判断 04 効果的な動きのメカニズム 資料1 ATP合成のしくみ 特設⑤ 運動・スポーツと脳 特設⑥ 動きと力 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、技能の上達過程を理解し、練習による変化や体の動きの仕組み、良い動きを支える調整力について学ぶ。 <<体育実技編>> サッカー [内容] 主に、メディア教材・報告課題によって、サッカーの歴史や成り立ち、特徴や技術を学ぶ。	164~171	教科書授業インターネット講座 <<体育編>> 164~167 教科書授業インターネット講座 <<体育編>> 168~171 NHK高校講座 保健体育 20.技能の上達過程と効果的な動きのメカニズム	[報告課題] 別途指示 【12/31】	第1回	9/1~12/31		
05 体力とトレーニング 06 運動やスポーツでの安全の確保 特設⑦ スポーツによるさまざまなリスクを考えよう 特設⑧ スポーツ外傷・障害とその原因 特設⑨ 健康づくりのために運動を実践してみよう [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、体の動きの仕組みや調整力、トレーニング方法を学び、スポーツ外傷・障害の違いや事故の予防方法について考える。 <<体育実技編>> バレーボール [内容] 主に、メディア教材・報告課題によって、バレーボールの歴史や成り立ち、特徴や技術を学ぶ。	172~180	教科書授業インターネット講座 <<体育編>> 172~資料5ストレッチング 教科書授業インターネット講座 <<体育編>> 176~180 NHK高校講座 保健体育 21.体力トレーニングと運動やスポーツにおける安全の確保	[報告課題] 別途指示 【12/31】	第2回	9/1~12/31		
【座学】 運動・スポーツの学び方03~06の学習内容の総括				実施日			体育Ⅱ後期①
【実技】 健康維持と体力向上を目指す運動実践①				実施日			体育Ⅱ後期②
【実技】 健康維持と体力向上を目指す運動実践②				実施日			体育Ⅱ後期③
【実技】 健康維持と体力向上を目指す運動実践③				実施日			体育Ⅱ後期④

教科	保健体育	科目名	体育	授業名	体育Ⅲ 前期	単位数	1	履修期間	前期	履修年次	3	年次
指導目標												
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわかって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>												
教科書	大修館 現代高等保健体育 (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座 NHK高校講座							
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全5回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導						
<p>≪体育編≫ 体育編 3 単元 豊かなスポーツライフの設計 01 生涯スポーツの見方・考え方 特設① スポーツ科学のすすめ 特設② スポーツにかかわる職業 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、生涯にわたってスポーツを楽しむための考え方や工夫を学ぶ。</p> <p>≪体育実技編≫ 卓球 [内容] 主に、メディア教材・報告課題によって、卓球の歴史や成り立ち、特徴や技術を学ぶ。</p>	182～185	教科書授業インターネット講座 ≪体育編≫ 182～185	[報告課題] 別途指示 【8/31】	第1回	4/14～8/31							
		NHK高校講座 保健体育 27.生涯スポーツの見方・考え方とライフスタイルに 応じたスポーツ	[報告課題] 別途指示 【8/31】									
		教科書授業インターネット講座 ≪体育実技編≫ 229～238	[報告課題] 別途指示 【8/31】									
<p>02 ライフスタイルに応じたスポーツ 特設③ 身のまわりの人のスポーツライフを調べてみよう 特設④ 自分でスポーツライフを設定してみよう [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、自分に合ったスポーツライフをデザインする力を養う。</p> <p>≪体育実技編≫ バドミントン [内容] 主に、メディア教材・報告課題によって、バドミンントンの歴史や成り立ち、特徴や技術を学ぶ。</p>	186～189	教科書授業インターネット講座 ≪体育編≫ 186～189	[報告課題] 別途指示 【8/31】	第2回	4/14～8/31							
		教科書授業インターネット講座 ≪体育実技編≫ 239～247	[報告課題] 別途指示 【8/31】									
【座学】豊かなスポーツライフの設計01～02の学習内容の総括				実施日	5/26	6/23	7/28					体育Ⅲ前期①
【実技】心と体のバランスを整える総合的な運動学習①				実施日	5/26	6/23	7/28					体育Ⅲ前期②
【実技】心と体のバランスを整える総合的な運動学習②				実施日	5/26	6/23	7/28					体育Ⅲ前期③
【実技】心と体のバランスを整える総合的な運動学習③				実施日	5/26	6/23	7/28					体育Ⅲ前期④
【実技】健康づくりのための多様な運動実践①				実施日				8/25				体育Ⅲ前期⑤
【実技】健康づくりのための多様な運動実践②				実施日				8/25				体育Ⅲ前期⑥
【実技】健康づくりのための多様な運動実践③				実施日				8/25				体育Ⅲ前期⑦
【実技】健康づくりのための多様な運動実践④				実施日				8/25				体育Ⅲ前期⑧

教科	保健体育	科目名	体育	授業名	体育Ⅲ 後期	単位数	1	履修期間	後期	履修年次	3	年次
指導目標												
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわかって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>												
教科書	大修館 現代高等保健体育 (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座 NHK高校講座							
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全6回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導						
<p>体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 03 スポーツを推進する取り組み 資料2 トップスポーツと地域スポーツの好循環によるスポーツ推進 特設⑥ 諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、国内や地域におけるスポーツ推進の取り組みを学び、これまでのスポーツライフの変遷を理解する。</p> <p>≪体育実技編≫ 柔道 [内容] 主に、メディア教材・報告課題によって、柔道の歴史や成り立ち、特徴や技術を学ぶ。</p>	190～193	教科書授業インターネット講座 ≪体育編≫ 190～193	[報告課題] 別途指示 【12/31】	第1回	9/1～12/31							
		NHK高校講座 保健体育 28.スポーツを推進する取り組み	[報告課題] 別途指示 【12/31】									
		NHK高校講座 保健体育 29.スポーツと環境										
		教科書授業インターネット講座 ≪体実技編≫ 267～285	[報告課題] 別途指示 【12/31】									
<p>04 豊かなスポーツライフの創造 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、今後の豊かなスポーツライフの実現に向けた課題について学ぶ。</p> <p>≪体育実技編≫ 剣道 [内容] 主に、メディア教材・報告課題によって、剣道の歴史や成り立ち、特徴や技術を学ぶ。</p>	194～195	教科書授業インターネット講座 ≪体育編≫ 194～195	[報告課題] 別途指示 【12/31】	第2回								
		NHK高校講座 保健体育 38.豊かなスポーツライフの創造	[報告課題] 別途指示 【12/31】									
		教科書授業インターネット講座 ≪体育実技編≫ 287～303	[報告課題] 別途指示 【12/31】									
【座学】豊かなスポーツライフの設計03～04の学習内容の総括						実施日					体育Ⅲ後期①	
【実技】心と体のバランスを整える総合的な運動学習①						実施日					体育Ⅲ後期②	
【実技】心と体のバランスを整える総合的な運動学習②						実施日					体育Ⅲ後期③	
【実技】心と体のバランスを整える総合的な運動学習③						実施日					体育Ⅲ後期④	

教科	保健体育	科目名	保健	授業名	保健	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	1	年次
指導目標												
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。												
教科書	大修館 現代高等保健体育 (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全6回の合格が必要です。 3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導						
<保健編> 保健編1単元 現代社会と健康 01 健康の考え方と成り立ち 02 私たちの健康のすがた 03 生活習慣病の予防と回復 04 がんの原因と予防 05 がんの治療と回復 06 運動と健康 07 食事と健康 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、現代社会と健康についての知識を身につける。	6~23	教科書授業インターネット講座 6~23	[報告課題] 別途指示 【6/30】	第1回	4/14~6/30							
08 休養・睡眠と健康 09 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、現代社会と健康についての知識を身につける。	24~39	教科書授業インターネット講座 24~39	[報告課題] 別途指示 【6/30】	第2回	4/14~6/30							
14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、現代社会と健康についての知識を身につける。	40~58	教科書授業インターネット講座 40~55	[報告課題] 別途指示 【7/31】	第3回	4/28~7/31							
保健編1単元の学習内容の総括				実施日	5/13	6/10	保健①					
保健編2単元 安全な社会生活 01 事故の現状と発生要因 02 安全な社会の形成 03 交通における安全 04 応急手当の意義とその基本 05 日常的な応急手当 06 心肺蘇生法 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、安全な社会生活についての知識を身につける。	60~74	教科書授業インターネット講座 60~73	[報告課題] 別途指示 【7/31】	第4回	4/28~7/31							

保健編 3 単元 生涯を通じる健康 01 ライフステージと健康 02 思春期と健康 03 性意識と性行動の選択 04 妊娠・出産と健康 05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚生活と健康 07 中高年期と健康 08 働くことと健康 09 労働火災と健康 10 健康的な職業生活 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、生涯を通じる健康についての知識を身につける。	76～98	教科書授業インターネット講座 76～97	[報告課題] 別途指示 【8/31】	第 5 回	5/19～8/31		
保健編 4 単元 健康を支える環境づくり 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康 03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備 05 食品の安全性 06 食品衛生にかかわる活動 07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用 09 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、健康を支える環境づくりについての知識を身につける。	100～129	教科書授業インターネット講座 100～127	[報告課題] 別途指示 【8/31】	第 6 回	5/19～8/31		
保健編 2 単元～ 4 単元の学習内容の総括			実施日	7/8	7/10	8/26	保健②
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		8/22～8/31の期間	

教科	芸術	科目名	書道Ⅰ	授業名	書道Ⅰ	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	2	年次
指導目標												
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。												
教科書	東京書籍 書道Ⅰ (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全6回の合格が必要。必要です。 3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)	
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (必須)	対面指導	
書写から書道へ [内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、書写の基礎を振り返り、楷書・行書の基本や書道の用具を活用しながら、美しい文字を書くコツを学ぶ。	2~9	教科書授業インターネット講座 2~8	[報告課題] 別途指示 【10/31】	第1回	9/1~10/31		
漢字の書 漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 楷書 (かいしょ) [内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、漢字の成り立ちや古典を学びながら書の魅力を深め、楷書の特徴や歴史的な作品を通じて美しく整った文字の書き方を学ぶ。	10~37	教科書授業インターネット講座 12~36	[報告課題] 別途指示 【10/31】	第2回	9/1~10/31		
行書 (ぎょうしょ) [内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、中学校で学んだ基礎をふまえて、行書の美しさや特徴を学ぶ。	38~58	教科書授業インターネット講座 38~58	[報告課題] 別途指示 【11/30】	第3回	9/22~11/30		
書写から書道へ、漢字の書の学習内容の総括			実施日				書道Ⅰ①
書写から書道へ、漢字の書の学習内容の総括			実施日				書道Ⅰ②
書写から書道へ、漢字の書の学習内容の総括			実施日				書道Ⅰ③
書写から書道へ、漢字の書の学習内容の総括			実施日				書道Ⅰ④
草書 (そうしょ) 隷書 (れいしょ) 篆書 (てんしょ) [内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、草書・隷書・篆書の成り立ちや特徴を学ぶ。	59~73	教科書授業インターネット講座 59~73	[報告課題] 別途指示 【11/30】	第4回	9/22~11/30		
仮名の書 [内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、仮名の成り立ちや名作を学び、平仮名や変体仮名の特徴を理解する。	74~103	教科書授業インターネット講座 76~103	[報告課題] 別途指示 【12/31】	第5回	10/14~12/31		

漢字仮名交じりの書 篆刻（てんこく）・刻字（こくじ） 〔内容〕主として、メディア教材・添削課題・ 報告課題によって、漢字仮名交じりの書の美し さや調和を学ぶ。生活に生かせる書の楽しみ方 や篆刻・刻字の技法を学ぶ。	104 - 138	教科書授業インターネット 講座 106~138	〔報告課題〕 別途指示 【12/31】	第 6 回	10/14~12/31		
書写から書道へ、漢字の書の学習内容の総括	実施日						書道！⑤
書写から書道へ、漢字の書の学習内容の総括	実施日						書道！⑥
書写から書道へ、漢字の書の学習内容の総括	実施日						書道！⑦
書写から書道へ、漢字の書の学習内容の総括	実施日						書道！⑧

教科	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	授業名	英語コミュニケーションⅠ前期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	1	年次	
指導目標													
英語学習の特性を踏まえ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の五つの領域について、適切な支援を活用しながら段階的に能力を育成することを目指す。これにより、以下の資質・能力を一体的に育成する。													
(1) 聞くこと：日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握できるようにする。社会的な話題について、概要や要点を目的に応じて捉えられるようにする。													
(2) 読むこと：日常的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を理解できるようにする。社会的な話題について、概要や要点を適切に把握できるようにする。													
(3) 話すこと〔やり取り〕：日常的な話題について、基本的な語句や文を用い、情報や考え、気持ちを伝え合う力を養う。社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、論理的に伝え合う力を身に付ける。													
(4) 話すこと〔発表〕：日常的な話題について、基本的な語句や文を用い、論理的に伝える力を養う。社会的な話題について、事前の準備を行い、聞いたり読んだりした内容を基に論理的に伝えられるようにする。													
(5) 書くこと：日常的な話題について、基本的な語句や文を用い、論理的に文章を書き伝える力を養う。社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を基に、論理的な文章を作成できるようにする。													
教科書	東京書籍 All Abroad English Communication Ⅰ (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座								
単位修得条件													
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。													
2. 報告課題：全6回の合格が必要です。													
3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。													
4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。													
単位修得（認定）評価													
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。													

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)		
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導		
Warm-Up 1：アルファベット Warm-Up2：教室で使う表現 Warm-Up3：辞書の使い方／疑問詞 Pre-Lesson 1：My Name Is Itto Neko Pre-Lesson2：I Like Junk Food! Communication 1：自己紹介 英文のしくみ1 〔内容〕主として、メディア教材・添削課題によって、文法、疑問詞、文の構造を学ぶ。	8～19	教科書授業インターネット講座 8～19	〔確認テスト〕 ・Warm-Up ・Pre-Lesson 【6/30】	第1回	4/14～6/30			
Lesson 1：Breakfast around the World 〔内容〕主として、メディア教材・添削課題によって、過去形の文法、接続詞を学ぶ。	20～27	教科書授業インターネット講座 20～27	〔確認テスト〕 ・Lesson1 【6/30】	第2回	4/14～6/30			
Lesson 2：Australia's Cute Quokksa 文法のまとめ1 〔内容〕主として、メディア教材・添削課題によって、現在進行形を学ぶ。	28～37	教科書授業インターネット講座 28～37	〔確認テスト〕 ・Lesson2 【7/31】	第3回	4/28～7/31			
Lesson 3：A Train Driver in Sanriku Communication 2：道案内 Let's Listen 1：デートの約束 Communication 2：道案内 Let's Listen 1：デートの約束 〔内容〕主として、メディア教材・添削課題によって、助動詞、命令文を学ぶ。	38～47	教科書授業インターネット講座 38～47	〔確認テスト〕 ・Lesson3 【7/31】	第4回	4/28～7/31			
辞書の使い方、英文のしくみ1、文法のまとめ1				実施日	5/13	6/10		英語コミュニケーションⅠ前期①
【Listening】Lesson 1～3、Let's Listen 1				実施日	5/13	6/10		英語コミュニケーションⅠ前期②
【Writing】Lesson 1～3、【Speaking】Lesson 1～3				実施日	5/13	6/10		英語コミュニケーションⅠ前期③
【Communication】Beatles Song を題材にして、英語学習への意欲関心を高める				実施日	5/13	6/10		英語コミュニケーションⅠ前期④
Lesson 4：A Miracle Mirror 英文Eメールの書き方 Extra Target1：人物当てクイズ 〔内容〕主として、メディア教材・添削課題によって、不定詞、接続詞の表現方法を学ぶ。	48～59	教科書授業インターネット講座 48～59	〔確認テスト〕 ・Lesson4 【8/31】	第5回	5/19～8/31			

Lesson 5 : Learning from the Sea Let's Listen 2 : フリーマーケットで買い物 英文のしくみ 2 文法のまとめ 2 Reading 1 : Short Stories in English Extra Target 2 : ○○が…するのを見た 〔内容〕 主として、メディア教材・添削課題によって、動名詞、文型を学ぶ。	60~77	教科書授業インターネット講座 60~77	〔確認テスト〕 ・ Lesson5 Reading1 【8/31】	第 6 回	5/19~8/31		
辞書の使い方、英文のしくみ 2、文法のまとめ 2			実施日	7/8	7/10	8/26	英語コミュニケーション I 前期 ⑤
〔Listening〕 Lesson 4 ~ 5 ・ Reading 1、Let's Listen 1			実施日	7/8	7/10	8/26	英語コミュニケーション I 前期 ⑥
〔Writing〕 Lesson 4 ~ 5 ・ Reading 1、〔Speaking〕 Lesson 4 ~ 5 ・ Reading 1			実施日	7/8	7/10	8/26	英語コミュニケーション I 前期 ⑦
〔Communication〕 Beatles Song を題材にして、英語学習への意欲関心を高める			実施日	7/8	7/10	8/26	英語コミュニケーション I 前期 ⑧
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		8/22~8/31の期間	

教科	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	授業名	英語コミュニケーションⅠ後期	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	1	年次
指導目標												
英語学習の特性を踏まえ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の五つの領域について、適切な支援を活用しながら段階的に能力を育成することを目指す。これにより、以下の資質・能力を一体的に育成する。												
(1) 聞くこと：日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握できるようにする。社会的な話題について、概要や要点を目的に応じて捉えられるようにする。												
(2) 読むこと：日常的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を理解できるようにする。社会的な話題について、概要や要点を適切に把握できるようにする。												
(3) 話すこと〔やり取り〕：日常的な話題について、基本的な語句や文を用い、情報や考え、気持ちを伝え合う力を養う。社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、論理的に伝え合う力を身に付ける。												
(4) 話すこと〔発表〕：日常的な話題について、基本的な語句や文を用い、論理的に伝える力を養う。社会的な話題について、事前の準備を行い、聞いたり読んだりした内容を基に論理的に伝えられるようにする。												
(5) 書くこと：日常的な話題について、基本的な語句や文を用い、論理的に文章を書き伝える力を養う。社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容を基に、論理的な文章を作成できるようにする。												
教科書	東京書籍 All Abroad English Communication Ⅰ (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。												
2. 報告課題：全6回の合格が必要でです。												
3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。												
4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導
Lesson 6 : A Funny Picture from the Edo Period [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、受け身の文法や表現力を学ぶ。	78~87	教科書授業インターネット講座 78~87	[確認テスト] ・ Lesson 6 確認テスト 【10/31】	第 1 回	9/1~10/31	
Lesson 7 : A Diary of Hope [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、比較級や表現力を学ぶ。	88~97	教科書授業インターネット講座 88~97	[確認テスト] ・ Lesson 7 確認テスト 【10/31】	第 2 回	9/1~10/31	
Lesson 8 : A Door to a New Life Communication 3 : 乗り換え案内 英文のしくみ 3 文法のまとめ 3 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、現在完了、助動詞、文型を学ぶ。	98~111	教科書授業インターネット講座 98~111	[確認テスト] ・ Lesson 8 確認テスト 【11/30】	第 3 回	9/22~11/30	
【Reading】英文のしくみ 3、文法のまとめ 3				実施日		英語コミュニケーションⅠ後期①
【Listening】Lesson 6~8、Let's Listen②				実施日		英語コミュニケーションⅠ後期②
【Writing】Lesson 6~8、【Speaking】Lesson 6~8				実施日		英語コミュニケーションⅠ後期③
【Communication】Beatles Song を題材にして、英語学習への意欲関心を高める				実施日		英語コミュニケーションⅠ後期④
Lesson 9 : Fighting Plastic Pollution [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、分詞（現在分詞、過去分詞）を学ぶ。	112~121	教科書授業インターネット講座 112~121	[確認テスト] ・ Lesson 9 確認テスト 【11/30】	第 4 回	9/22~11/30	
Lesson 10 : Pigs from across the Sea [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、関係詞（関係代名詞）を学ぶ。	122~131	教科書授業インターネット講座 122~131	[確認テスト] ・ Lesson 10 確認テスト 【12/31】	第 5 回	10/14~12/31	
Reading 2 : The Wizard of Oz Extra Target 3 文法のまとめ 4 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、関係詞（関係副詞）仮定法過去を学ぶ。	132~141	教科書授業インターネット講座 132~141	[確認テスト] ・ Reading 2 確認テスト 【12/31】	第 6 回	10/14~12/31	
【Reading】英文のしくみ 3、文法のまとめ 4				実施日		英語コミュニケーションⅠ後期⑤
【Listening】Lesson 9~10、Reading 2、Let's Listen 2				実施日		英語コミュニケーションⅠ後期⑥
【Writing】Lesson 9~10、Reading 2【Speaking】Lesson 9~10、Reading 2				実施日		英語コミュニケーションⅠ後期⑦
【Communication】Beatles Song を題材にして、英語学習への意欲関心を高める				実施日		英語コミュニケーションⅠ後期⑧
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		

教科	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	授業名	英語コミュニケーションⅡ前期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	3	年次
指導目標												
英語学習の特性を踏まえ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の五つの領域において、適切な支援を活用しながら、以下の力を育成する。												
(1) 聞くこと：日常的話題：話の流れや話し手の意図を理解できるようにする。社会的な話題：概要や要点、詳細を適切に聞き取れるようにする。 (2) 読むこと：日常的話題：文章の構成や書き手の意図を理解できるようにする。社会的な話題：概要や要点、詳細を適切に読み取れるようにする。 (3) 話すこと〔やり取り〕：日常的話題：多様な表現を使い、詳しく伝え合えるようにする。社会的な話題：論理的に詳しく意見を伝え合えるようにする。 (4) 話すこと〔発表〕：日常的話題：多様な表現を使い、論理的に伝えられるようにする。社会的な話題：聞いたり読んだりした内容を基に、論理的に発表できるようにする。 (5) 書くこと：日常的話題：論理的な文章を複数の段落で詳しく書けるようにする。社会的な話題：聞いたり読んだりした内容を基に、論理的な文章を書けるようにする。												
教科書	東京書籍 All Abroad English Communication II (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全6回の合格が必要です。 3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用（必須） 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間（〆切）	対面指導						
Pre-Lesson : My Plans for This Year Lesson1 : A Colorful Island Let's Listen 1 : ホテルにチェックイン Communication 1 : 病院で診察 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、英語の表現を学ぶ。	8~19	教科書授業インターネット講座 8~19	[確認テスト] ・ Pre-Lesson ・ Lesson1 【6/30】	第1回	4/14~6/30							
Lesson2 : With the Beatles Word Box 1 : Feelings and Emotions [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、英語での表現や感情の表現を学ぶ。	20~29	教科書授業インターネット講座 20~29	[確認テスト] ・ Lesson2 【6/30】	第2回	4/14~6/30							
Lesson3 : Wild Men 文法のまとめ1 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、Itの用法（(It is ~to Vの構文)）を学ぶ。	30~41	教科書授業インターネット講座 30~41	[確認テスト] ・ Lesson3① ・ Lesson3② 【7/31】	第3回	4/28~7/31							
【Reading】文法のまとめ1		実施日	5/27	6/24		英語コミュニケーションⅡ前期①						
【Listening】Lesson 1~3、Let's Listen 1		実施日	5/27	6/24		英語コミュニケーションⅡ前期②						
【Writing】Lesson 1~3、【Speaking】Lesson 1~3		実施日	5/27	6/24		英語コミュニケーションⅡ前期③						
【Communication】Beatles Songを題材にして、英語学習への意欲関心を高める		実施日	5/27	6/24		英語コミュニケーションⅡ前期④						
Lesson4 : Little Hero Let's Listen 2 : 世界自然遺産 Extra Target 1 : ずっと…し続けています Word Box 2 : A Day in English : Part 1 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、間接疑問文、現在完了進行形を学ぶ。	42~55	教科書授業インターネット講座 42~55	[確認テスト] ・ Lesson4① ・ Lesson4② 【7/31】	第4回	4/28~7/31							
Lesson5 : Special Makeup in Kabuki Word Box 3 : The Body and Clothes [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、英語の表現を学ぶ。	56~69	教科書授業インターネット講座 56~69	[確認テスト] ・ Lesson5① ・ Lesson5② 【8/31】	第5回	5/19~8/31							
Reading 1 : Mujina 文法のまとめ2 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、英語の表現を学ぶ。	70~77	教科書授業インターネット講座 70~77	[確認テスト] ・ Reading1 【8/31】	第6回	5/19~8/31							
【Reading】文法のまとめ1		実施日	7/29	7/31	8/26	英語コミュニケーションⅡ前期⑤						
【Listening】Lesson 4~5、Reading 1、Let's Listen 1		実施日	7/29	7/31	8/26	英語コミュニケーションⅡ前期⑥						
【Writing】Lesson 4~5、Reading 1 【Speaking】Lesson 4~5、Reading 1		実施日	7/29	7/31	8/26	英語コミュニケーションⅡ前期⑦						
【Communication】Beatles Songを題材にして、英語学習への意欲関心を高める		実施日	7/29	7/31	8/26	英語コミュニケーションⅡ前期⑧						
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		8/22~8/31の期間						

教科	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	授業名	英語コミュニケーションⅡ後期	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	3	年次
指導目標												
英語学習の特性を踏まえ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の五つの領域において、適切な支援を活用しながら、以下の力を育成する。												
(1) 聞くこと：日常的話題：話の流れや話し手の意図を理解できるようにする。社会的な話題：概要や要点、詳細を適切に聞き取れるようにする。												
(2) 読むこと：日常的話題：文章の構成や書き手の意図を理解できるようにする。社会的な話題：概要や要点、詳細を適切に読み取れるようにする。												
(3) 話すこと [やり取り]：日常的話題：多様な表現を使い、詳しく伝え合えるようにする。社会的な話題：論理的に詳しく意見を伝え合えるようにする。												
(4) 話すこと [発表]：日常的話題：多様な表現を使い、論理的に伝えられるようにする。社会的な話題：聞いたり読んだりした内容を基に、論理的に発表できるようにする。												
(5) 書くこと：日常的話題：論理的な文章を複数の段落で詳しく書けるようにする。社会的な話題：聞いたり読んだりした内容を基に、論理的な文章を書けるようにする。												
教科書	東京書籍 All Abroad English Communication II (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。												
2. 報告課題：全6回の合格が必要です。												
3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。												
4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導
Lesson6 : Seeds for Future Generations Word Box 4 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、英語での説明と表現を学ぶ。	78~91	教科書授業インターネット講座 78~91	[確認テスト] ・ Lesson6確認テスト① ・ Lesson6確認テスト② 【10/31】	第1回	9/1~10/31	
Lesson7 : Over the Wall Communication 2 : 入国審査 Getting the Necessary Information : ロンドンの地下鉄 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、英語での表現と受け答えを学ぶ。	92~105	教科書授業インターネット講座 92~105	[確認テスト] ・ Lesson7確認テスト① ・ Lesson7確認テスト② 【10/31】	第2回	9/1~10/31	
Lesson8 : Inspiration from Nature 文法のまとめ3 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、知覚動詞を学ぶ。	106~119	教科書授業インターネット講座 106~119	[確認テスト] ・ Lesson8確認テスト① ・ Lesson8確認テスト② 【11/30】	第3回	9/22~11/30	
【Reading】 文法のまとめ3			実施日			英語コミュニケーションⅡ後期①
【Listening】 Lesson 6~8、Let's Listen 2			実施日			英語コミュニケーションⅡ後期②
【Writing】 Lesson 6~8、【Speaking】 Lesson 6~8			実施日			英語コミュニケーションⅡ後期③
【Communication】 Beatles Song を題材にして、英語学習への意欲関心を高める			実施日			英語コミュニケーションⅡ後期④
Lesson9 : The Bitter Truth behind Chocolate エッセイライティング Extra Target 2 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、使役動詞と仮定法過去を学ぶ。	120~133	教科書授業インターネット講座 120~133	[確認テスト] ・ Lesson9確認テスト① ・ Lesson9確認テスト② 【11/30】	第4回	9/22~11/30	
Lesson10 : Fighting Angel 文法のまとめ4 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、分詞構文を学ぶ。	134~147	教科書授業インターネット講座 134~147	[確認テスト] ・ Lesson10確認テスト① ・ Lesson10確認テスト② 【12/31】	第5回	10/14~12/31	
Reading2 : Bear's Pie Word Box 5 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、英語の表現を学ぶ。	148~155	教科書授業インターネット講座 148~155	[確認テスト] ・ Reading2確認テスト 【12/31】	第6回	10/14~12/31	
【Reading】 文法のまとめ4			実施日			英語コミュニケーションⅡ後期⑤
【Listening】 Lesson9~10、Reading 2、Let's Listen 2			実施日			英語コミュニケーションⅡ後期⑥
【Writing】 Lesson 9~10、Reading 2 【Speaking】 Lesson 9~10、Reading 2			実施日			英語コミュニケーションⅡ後期⑦
【Communication】 Beatles Song を題材にして、英語学習への意欲関心を高める			実施日			英語コミュニケーションⅡ後期⑧
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		

教科	外国語	科目名	論理・表現Ⅰ	授業名	論理・表現Ⅰ	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	2	年次
指導目標												
英語学習の特性を踏まえ、「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の三つの領域において、適切な支援を活用しながら、以下の力を育成する。												
(1) 話すこと [やり取り] : 日常的な話題 : 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを伝え合い、必要な情報を得られるようにする。 日常的・社会的な話題 : ディベートやディスカッションを通じて、聞いたり読んだりした内容を活用し、論理的に意見や主張を伝え合えるようにする。 (2) 話すこと [発表] : 日常的な話題 : 論理的な構成を意識しながら、情報や考え、気持ちを伝えられるようにする。日常的・社会的な話題 : スピーチやプレゼンテーションを通じて、聞いたり読んだりした内容を活用し、論理的に意見や主張を伝えられるようにする。 (3) 書くこと : 日常的な話題 : 論理的な構成を工夫しながら、情報や考え、気持ちを文章で伝えられるようにする。日常的・社会的な話題 : 聞いたり読んだりした内容を活用し、論理的に意見や主張を文章で伝えられるようにする。												
教科書	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
1. 添削指導 (レポート) : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題 : 全6回の合格が必要です。 3. 面接指導 (スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格 : 所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得 (認定) 評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (必須)	対面指導						
Unit1 Lesson1: 初めての食事 Lesson2: 道に迷う Lesson3: 人物紹介 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	14~31	教科書授業インターネット講座 14~30	[確認テスト] ・Unit1 Lesson1 ・Unit1 Lesson2 ・Unit1 Lesson3 【6/30】	第1回	4/14~6/30							
Lesson4: 体調が悪い Lesson5: 買い物 Lesson6: 行ってみたい場所 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	32~49	教科書授業インターネット講座 32~48	[確認テスト] ・Unit1 Lesson4 ・Unit1 Lesson5 ・Unit1 Lesson6 【6/30】	第2回	4/14~6/30							
Lesson7: イベントに誘われる Lesson8: スクールカウンセラーに相談 Lesson9: お気に入りを紹介 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	50~67	教科書授業インターネット講座 50~67	[確認テスト] ・Unit1 Lesson7 ・Unit1 Lesson8 ・Unit1 Lesson9 【7/31】	第3回	4/28~7/31							
【英文法】 伝わる英文法				実施日	5/20	6/17						論理・表現Ⅰ①
【Speaking】 Unit1・Lesson3 (本文)				実施日	5/20	6/17						論理・表現Ⅰ②
【Writing】 Unit1・Lesson6 (本文)				実施日	5/20	6/17						論理・表現Ⅰ③
【Interaction】 Unit1・Lesson5 (本文)				実施日	5/20	6/17						論理・表現Ⅰ④
Lesson10: 待ち合わせに遅刻 Lesson11: 家庭でのディスカッション Lesson12: 英字新聞に投稿 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	68~85	教科書授業インターネット講座 68~84	[確認テスト] ・Unit1 Lesson10 ・Unit1 Lesson11 ・Unit1 Lesson12 【7/31】	第4回	4/28~7/31							
Unit2 Lesson1: クラスでディベート① Lesson2: クラスでディベート② Lesson3: 経験談のスピーチ Lesson4: 遊びやスポーツを紹介 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	88~111	教科書授業インターネット講座 88~110	[確認テスト] ・Unit2 Lesson1 ・Unit2 Lesson2 ・Unit2 Lesson3 ・Unit2 Lesson4 【8/31】	第5回	5/19~8/31							
Unit2 Lesson5: 日本をPR Lesson6: 物事の両面を伝える Lesson7: 読み手を納得させる Lesson8: 読み手を説得する [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	112~135	教科書授業インターネット講座 112~134	[確認テスト] ・Unit2 Lesson5 ・Unit2 Lesson6 ・Unit2 Lesson7 ・Unit2 Lesson8 【8/31】	第6回	5/19~8/31							
【英文法】 伝わる英文法				実施日	7/15	7/17	8/25					論理・表現Ⅰ⑤
【Speaking】 Unit2・Lesson3 (本文)				実施日	7/15	7/17	8/25					論理・表現Ⅰ⑥
【Writing】 Unit2・Lesson6 (本文)				実施日	7/15	7/17	8/25					論理・表現Ⅰ⑦
【Interaction】 Unit1・Lesson10 (本文)				実施日	7/15	7/17	8/25					論理・表現Ⅰ⑧
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)					試験期間 (別途連絡)			8/22~8/31の期間			

教科	外国語	科目名	論理・表現Ⅱ	授業名	論理・表現Ⅱ前期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	3	年次
指導目標												
英語学習の特性を踏まえ、「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の三つの領域において、適切な支援を活用しながら、以下の力を育成する。												
(1) 話すこと [やり取り]：日常的な話題：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを詳しく伝え合い、異なる立場の相手と交渉できるようにする。日常的・社会的な話題：ディベートやディスカッションを通じて、聞いたり読んだりした内容を活用し、論理的に意見や主張、解決策を詳しく伝え合えるようにする。 (2) 話すこと [発表]：日常的话题：論理的な構成を意識しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを詳しく伝えられるようにする。日常的・社会的な話題：スピーチやプレゼンテーションを通じて、聞いたり読んだりした内容を活用し、論理的に意見や主張を詳しく伝えられるようにする。 (3) 書くこと：日常的话题：論理的な構成を工夫しながら、多様な語句や文を用いて、複数の段落から成る文章で詳しく伝えられるようにする。日常的・社会的な話題：聞いたり読んだりした内容を活用し、論理的に意見や主張を整理し、複数の段落から成る文章で詳しく伝えられるようにする。												
教科書	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
1. 添削指導 (レポート)：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全6回の合格が必要です。 3. 面接指導 (スクーリング)：実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得 (認定) 評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (※)	対面指導						
Unit1 Lesson1: 友達に報告する Lesson2: 日本での初登校 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	8~15	教科書授業インターネット講座 8~15	[確認テスト] ・Unit1①確認テスト ・Unit1②確認テスト 【6/30】	第1回	4/14~6/30							
Lesson3: 経験についてのスピーチ Lesson4: ファンレター [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	16~23	教科書授業インターネット講座 16~23	[確認テスト] ・Unit1③確認テスト ・Unit1④確認テスト 【6/30】	第2回	4/14~6/30							
Lesson5: イベントに誘う Lesson6: 図書館で資料さがし [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	24~31	教科書授業インターネット講座 24~31	[確認テスト] ・Unit1⑤確認テスト ・Unit1⑥確認テスト 【7/31】	第3回	4/28~7/31							
【英語表現】発信するための機能別表現				実施日	5/29	6/26						論理・表現Ⅱ前期①
【Speaking】Unit 1・Lesson3 (本文)				実施日	5/29	6/26						論理・表現Ⅱ前期②
【Writing】Unit 1・Lesson4 (本文)				実施日	5/29	6/26						論理・表現Ⅱ前期③
【Interaction】Unit 1・Lesson1 (本文)				実施日	5/29	6/26						論理・表現Ⅱ前期④
Lesson7: 翻訳についてのスピーチ Lesson8: 通信販売で返品依頼 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	32~39	教科書授業インターネット講座 32~39	[確認テスト] ・Unit1⑦確認テスト ・Unit1⑧確認テスト 【7/31】	第4回	4/28~7/31							
Lesson9: タクシーに乗る Lesson10: 友達とディスカッション [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	40~47	教科書授業インターネット講座 40~47	[確認テスト] ・Unit1⑨確認テスト ・Unit1⑩確認テスト 【8/31】	第5回	5/19~8/31							
Lesson11: 比較結果のプレゼンテーション Lesson12: 就きたい職業 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	48~55	教科書授業インターネット講座 48~55	[確認テスト] ・Unit1⑪確認テスト ・Unit1⑫確認テスト 【8/31】	第6回	5/19~8/31							
【英語表現】発信するための機能別表現				実施日	7/29	7/31	8/28					論理・表現Ⅱ前期⑤
【Speaking】Unit 1・Lesson11 (本文)				実施日	7/29	7/31	8/28					論理・表現Ⅱ前期⑥
【Writing】Unit 1・Lesson8 (本文)				実施日	7/29	7/31	8/28					論理・表現Ⅱ前期⑦
【Interaction】Unit 1・Lesson9 (本文)				実施日	7/29	7/31	8/28					論理・表現Ⅱ前期⑧
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)			8/22~8/31の期間					

教科	外国語	科目名	論理・表現Ⅱ	授業名	論理・表現Ⅱ後期	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	3	年次
指導目標												
英語学習の特性を踏まえ、「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の三つの領域において、適切な支援を活用しながら、以下の力を育成する。												
(1) 話すこと [やり取り] : 日常的な話題: 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを詳しく伝え合い、異なる立場の相手と交渉できるようにする。日常的・社会的な話題: ディベートやディスカッションを通じて、聞いたり読んだりした内容を活用し、論理的に意見や主張、解決策を詳しく伝え合えるようにする。												
(2) 話すこと [発表] : 日常的な話題: 論理的な構成を意識しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを詳しく伝えられるようにする。日常的・社会的な話題: スピーチやプレゼンテーションを通じて、聞いたり読んだりした内容を活用し、論理的に意見や主張を詳しく伝えられるようにする。												
(3) 書くこと : 日常的な話題: 論理的な構成を工夫しながら、多様な語句や文を用いて、複数の段落から成る文章で詳しく伝えられるようにする。日常的・社会的な話題: 聞いたり読んだりした内容を活用し、論理的に意見や主張を整理し、複数の段落から成る文章で詳しく伝えられるようにする。												
教科書	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
1. 添削指導 (レポート) : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。												
2. 報告課題: 全6回の合格が必要です。												
3. 面接指導 (スクーリング): 実施校で行われる面接指導に4回以上出席することが必要です。												
4. 学習到達度確認試験の合格: 所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得 (認定) 評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導
Unit2 Lesson1: クラスでディベート① Lesson2: クラスでディベート② [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	58~65	教科書授業インターネット講座 58~65	[確認テスト] ・Unit2①確認テスト ・Unit2②確認テスト 【10/31】	第1回	9/1~10/31	
Lesson3: クラスでディベート③ [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	66~69	教科書授業インターネット講座 66~69	[確認テスト] ・Unit2③確認テスト 【10/31】	第2回	9/1~10/31	
Lesson4: 調査結果のプレゼンテーション [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	70~73	教科書授業インターネット講座 70~73	[確認テスト] ・Unit2④確認テスト 【11/30】	第3回	9/22~11/30	
【英語表現】 発信するための機能別表現				実施日		論理・表現Ⅱ後期①
【Speaking】 Unit 2・Lesson 4 (本文)				実施日		論理・表現Ⅱ後期②
【Writing】 Unit 2・Lesson 6 (本文)				実施日		論理・表現Ⅱ後期③
【Interaction】 Unit 2・Lesson 1 (本文)				実施日		論理・表現Ⅱ後期④
Lesson5: 社会問題についてのスピーチ [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	74~77	教科書授業インターネット講座 74~77	[確認テスト] ・Unit2⑤確認テスト 【11/30】	第4回	9/22~11/30	
Lesson6: 仮定して推論する Lesson7: 比較して説明する [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	78~85	教科書授業インターネット講座 78~85	[確認テスト] ・Unit2⑥確認テスト ・Unit2⑦確認テスト 【12/31】	第5回	10/14~12/31	
Lesson8: 読み手を説得する [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、表現方法を身につける。	86~90	教科書授業インターネット講座 86~89	[確認テスト] ・Unit2⑧確認テスト 【12/31】	第6回	10/14~12/31	
【英語表現】 発信するための機能別表現				実施日		論理・表現Ⅱ後期⑤
【Speaking】 Unit 2・Lesson 5 (本文)				実施日		論理・表現Ⅱ後期⑥
【Writing】 Unit 2・Lesson 7 (本文)				実施日		論理・表現Ⅱ後期⑦
【Interaction】 Unit 2・Lesson 8 (本文)				実施日		論理・表現Ⅱ後期⑧
学習到達度確認試験	出題範囲 (上記教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)		

教科	家庭	科目名	家庭総合	授業名	家庭総合 前期	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	2	年次
指導目標												
<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>												
教科書	東京書籍 家庭総合 (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全6回の合格が必要。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2回以上出席することが必要です。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)				
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (ℳ切)	対面指導				
家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す 1. 人生を展望する 2. 目標を持って生きる 3. これからの家庭生活と社会 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。	10~19	教科書授業インターネット講座 10~17	[確認テスト] ・第1章 確認テスト 【6/30】	第1回	4/14~6/30					
家族・社会との共生 第2章 人生をつくる 1. 人生をつくる 2. 家族・家庭を見つめる 3. これからの家庭生活と社会 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、人口減少時代が到来していることを理解し、これからの時代をどう生きていくかを考える。	20~43	教科書授業インターネット講座 20~41	[確認テスト] ・第2章 確認テスト 【6/30】	第2回	4/14~6/30					
家族・社会との共生 第3章 子どもと共に育つ 1. 命を育む 2. 子どもの育つ力を知る 3. 子どもと関わる 4. 子どもとの触れ合いから学ぶ 5. これからの保育環境 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、命に対する責任や、社会の一員としての次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。	44~75	教科書授業インターネット講座 44~62、66~72	[確認テスト] ・第3章 確認テスト 【7/31】	第3回	4/28~7/31					
家族・社会と共生第1章~第3章の学習内容の総括①					実施日	5/22	6/19			家庭総合前期①
家族・社会と共生第1章~第3章の学習内容の総括②					実施日	5/22	6/19			家庭総合前期②
家族・社会との共生 第4章 超高齢社会を共に生きる 1. 超高齢・大衆長寿社会の到来 2. 高齢期の心身の特徴 3. 高齢者の自立を支える 4. これからの超高齢社会 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、超高齢社会の背景を知ったうえで、高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か理解する。	76~93	教科書授業インターネット講座 76~87、90~91	[確認テスト] ・第4章 確認テスト 【7/31】	第4回	4/28~7/31					
家族・社会との共生 第5章 共に生き、共に支える 1. 私たちの生活と福祉 2. 社会保障の考え方 3. 共に生きる [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。	94~103	教科書授業インターネット講座 94~100	[確認テスト] ・第5章 確認テスト 【8/31】	第5回	5/19~8/31					

生活の自立 第6章 食生活をつくる 1. 食生活の課題について考える 2. 食事と栄養・食品 3. 食品の選択と安全 4. 生涯の健康を見通した食事計画 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	104~131	教科書授業インターネット講座 104~131	[報告課題] 別途指示 【8/31】	第6回	5/19~8/31			
家族・社会と共生第4章~第6章1~4の学習内容の総括①				実施日	7/15	7/17	8/28	家庭総合前期③
家族・社会と共生第4章~第6章1~4の学習内容の総括②				実施日	7/15	7/17	8/28	家庭総合前期④
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)			8/22~8/31の期間	

教科	家庭	科目名	家庭総合	授業名	家庭総合 後期	単位数	2	履修期間	後期	履修年次	2	年次
指導目標												
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。												
教科書	東京書籍 家庭総合 (701)				メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座						
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全5回の合格が必要。必須です。 3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2回以上出席することが必要です。 4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)	
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (必須)	対面指導	
生活の自立 第6章 食生活をつくる 5. 調理の基礎 6. 食生活の文化と知恵 7. これからの食生活 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、食生活の特徴や課題を学び、健康的で楽しい食事のヒントを見つけ、食に対する視野を広げる。	132~159	教科書授業インターネット講座 132~157	[確認テスト] ・第6章 確認テスト 【10/31】	第1回	9/1~10/31		
第7章 衣生活をつくる 1. 被服の役割を考える 2. 被服を入手する 3. 被服を管理する [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、被服の役割や選び方を学び、環境に優しい衣生活を実践する知識を身につける。	160~179	教科書授業インターネット講座 160~179	[確認テスト] ・第7章 確認テスト 【11/30】	第2回	9/1~10/31		
4. 被服を作る 5. 衣生活の文化と知恵 6. これからの衣生活 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、服の構造やデザインを学び、日本や世界の民族衣装を理解し、持続可能な衣生活を考える力を養う。	180~201	教科書授業インターネット講座 180~199		第3回	9/22~11/30		
生活の自立第6章~第7章の学習内容の総括①				実施日			家庭総合後期①
生活の自立第6章~第7章の学習内容の総括②				実施日			家庭総合後期②
第8章 住生活をつくる 1. 住生活の変遷と住居の機能 2. 安全で快適な住生活の計画 3. 住生活の文化と知恵 4. これからの住生活 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、住居の役割や環境性能を学び、快適で安全な住まいや持続可能な住文化を創造する力を養う。	202~229	教科書授業インターネット講座 202~225	[確認テスト] ・第8章 確認テスト 【11/30】	第4回	9/22~11/30		
第9章 経済生活を営む 1. 情報の収集・比較と意思決定 2. 購入・支払いのルールと方法 3. 消費者の権利と責任 4. 生涯の経済生活を見通す 5. 家計をマネジメントする 6. これからの経済生活 [内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、消費生活や経済的自立を学び、責任ある消費行動や持続可能な経済成長に貢献する力を身につける。	230~251	教科書授業インターネット講座 230~251	[確認テスト] ・第9章 確認テスト 【12/31】	第5回	10/14~12/31		

<p>第10章 持続可能な生活を営む</p> <p>1. 持続可能な社会を目指して</p> <p>2. 一人一人の力で社会を動かす</p> <p>第11章 これからの生活を創造する</p> <p>1. 生活をデザインする</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、持続可能なライフスタイルを実現するため、環境とのつながりを理解し、個人の行動で社会全体をより良い方向に導く力を育てる。</p>	252～267	<p>教科書授業インターネット講座</p> <p>252～259、262～268</p>	<p>[確認テスト]</p> <p>・第10章 確認テスト</p> <p>【12/31】</p>	第6回	10/14～12/31		
生活の自立第8章～第10章の学習内容の総括①			実施日				家庭総合後期③
生活の自立第8章～第10章の学習内容の総括②			実施日				家庭総合後期④
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)			

教科	情報	科目名	情報Ⅰ	授業名	情報Ⅰ	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	1	年次
指導目標												
<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>												
教科書	東京書籍 新編情報Ⅰ (701)			メディア教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座							
単位修得条件												
<p>1. 添削指導（レポート）：全4回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。</p> <p>2. 報告課題：全4回の合格が必要です。</p> <p>3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2回以上出席することが必要です。</p> <p>4. 学習到達度確認試験の合格：所定以上の得点を修めることが必要です。</p>												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度、学習到達度確認試験の結果を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出必須】		添削課題		面接指導 (スクーリング)					
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (※切)	対面指導					
<p>1章 情報で問題を解決する</p> <p>1. 情報とメディアの特性</p> <p>2. 問題解決の流れ</p> <p>3. 発想法</p> <p>4. 情報モラル</p> <p>5. 個人情報の流出</p> <p>6. 傷つかない傷つけないために</p> <p>7. 著作権</p> <p>8. 情報技術の発展</p> <p>9. 情報化と私たちの生活の変化</p> <p>10. よりよい情報社会へ</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、情報やメディア、問題解決、情報モラル、技術の影響について学習する。</p>	5~32	教科書授業インターネット講座 6~25	[確認テスト] ・1章確認テスト 【6/30】	第1回	4/14~6/30						
<p>2章 情報を伝える</p> <p>11. コミュニケーション手段の変化</p> <p>12. ネットコミュニケーションの特徴</p> <p>13. デジタルの世界へ</p> <p>14. 数値と文字のデジタル表現</p> <p>15. 音と画像のデジタル表現</p> <p>16. 色と動画のデジタル表現</p> <p>17. 目的に応じたデジタル化</p> <p>18. 情報デザイン</p> <p>19. ユニバーサルデザイン</p> <p>20. 情報デザインの流れ</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、ネットコミュニケーション、デジタルの特徴と用語、情報デザインやデータの概念を学習する。</p>	33~60	教科書授業インターネット講座 34~53	[確認テスト] ・2章確認テスト 【6/30】	第2回	4/14~6/30						
1章~第2章の学習内容の総括				実施日	5/16	6/12					情報Ⅰ①
1章~第2章の学習内容の総括				実施日	5/16	6/12					情報Ⅰ②
<p>3章 コンピュータを活用する</p> <p>21. コンピュータとは何か</p> <p>22. ソフトウェアの仕組み</p> <p>23. 演算の仕組みとコンピュータの限界</p> <p>24. アルゴリズムの表現</p> <p>25. プログラムの基本構造1</p> <p>26. プログラムの基本構造2</p> <p>27. 発展的なプログラム1</p> <p>28. 発展的なプログラム2</p> <p>29. モデル化とシミュレーション</p> <p>30. シミュレーションの活用</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、コンピュータの構成、ソフトウェア、論理回路、プログラムの基礎概念やアルゴリズムを理解する。</p>	61~88	教科書授業インターネット講座 62~81	[確認テスト] ・3章確認テスト 【8/31】	第3回	5/19~8/31						

<p>4章 データを活用する</p> <p>31. ネットワークとインターネット 32. インターネットの仕組み 33. サーバとクライアント 34. インターネット上のサービス 35. 情報セキュリティ 36. データの形式 37. データベースの活用 38. さまざまなデータモデル 39. データ分析の流れ 40. 目的に合わせたデータの利用</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題によって、情報通信ネットワーク、インターネットの仕組み、情報セキュリティ、データベースとデータ分析を学習する。</p>	89~116	教科書授業インターネット講座 90~109	[確認テスト] ・4章確認テスト 【7/31】	第4回	5/19~8/31			
3章~4章の学習内容の総括				実施日	7/8	7/10	8/28	情報I③
3章~4章の学習内容の総括				実施日	7/8	7/10	8/28	情報I④
学習到達度確認試験	出題範囲 (教科書、添削課題の内容)			試験期間 (別途連絡)			8/22~8/31の期間	

教科	実践行動学	科目名	実践行動学	授業名	実践行動学	単位数	2	履修期間	前期	履修年次	2	年次
指導目標												
自身をメタ認知する機会として以下の3つの視点から、自律へと向かう姿勢・態度を養う。 (1) 科学的アプローチで人間への理解を深め、無自覚な言動や思考を知覚することで、自律へと向かう適切な判断力を育てる (2) 哲学的アプローチで答えの無い問いに自分なりの答えを出すことで思考傾向を知覚し、自律へと向かう創造的な思考力を育てる (3) 社会的アプローチで実社会にある問題と自分を繋ぎ、自律へと向かう公正な社会観を育てる												
教科書		実践行動学			メディア教材		実践行動学オリジナル動画					
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 報告課題：全6回の合格が必要です。 3. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (必須) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導
科学的視点 Unit1 思考の錯覚 Step1 思考の錯覚とは？ Step2 色々な思考の錯覚① Step3 色々な思考の錯覚② Step4 体験の振り返り [内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、人の脳の仕組みや発達過程における思考の特性を学ぶ。		Unit1	[報告課題] 別途指示 【6/30】	第1回	4/14~6/30	
科学的視点 Unit2 バイアス Step1 バイアスとは？ Step2 情報の認識の仕方 Step3 自他の認識の仕方 Step4 バイアスと付き合う工夫 [内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、物事の捉え方に影響を与えるバイアスが自分にもあることを理解し、それに対処する方法を考え、バイアスとの向き合い方を見つける。		Unit2	[報告課題] 別途指示 【6/30】	第2回	4/14~6/30	
哲学的視点 Unit3 思考実験 Step1 思考実験とは？ Step2 ビュリダンのロバ Step3 中国語の部屋 Step4 無知のヴェール [内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、唯一解のない問いに向き合い、議論での前提確認や外部要因の影響、評価の難しさ、そして多様な立場を考慮することの重要性に気づく。		Unit3	[報告課題] 別途指示 【7/31】	第3回	4/28~7/31	
哲学的視点 Unit4 哲学的問い Step1 私たちと哲学 Step2 哲学者たちの道具 Step3 問いの種類 Step4 価値観 [内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、哲学を通じて考え続ける価値を学び、問いを立てて視点を広げ、自分の価値観や姿勢について考える。		Unit4	[報告課題] 別途指示 【7/31】	第4回	4/28~7/31	
社会的視点 Unit5 社会にある問題 Step1 社会にある問題 Step2 世界の中の日本 Step3 情報の真偽 Step4 ネット社会での問題 [内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、社会問題や環境問題、ネット社会の影響を考え、情報の受け取り方や偏りについて見直す。		Unit5	[報告課題] 別途指示 【8/31】	第5回	5/19~8/31	

<p>社会的視点 Unit6 自分にとっての問題</p> <p>Step1 社会問題への関わり方</p> <p>Step2 日常生活でできること</p> <p>Step3 ウェルビーイングとは？</p> <p>Step4 自分にとってのウェルビーイング</p> <p>[内容] 主として、メディア教材・添削課題・報告課題によって、エシカルな考え方を知り、社会問題に対してできることを考え、ウェルビーイングと自分の生き方について見つめ直す。</p>		Unit6	<p>[報告課題]</p> <p>別途指示</p> <p>【8/31】</p>	第6回	5/19~8/31		
【ワークショップ】自身の価値観を知覚する		実施日	5/19	6/16	7/14	8/26	実践行動学①

教科	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間	授業名	総合的な探究の時間Ⅰ	前期	単位数	1	履修期間	前期	履修年次	1	年次
指導目標													
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の課程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。													
教科書	なし			メディア教材	なし								
単位修得条件													
1. 添削指導（レポート）：事前課題および事後課題を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。													
単位修得（認定）評価													
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。													
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用（なし） 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)							
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間（〆切）	対面指導							
自己理解と社会のつながり 自分を知るワークショップ [内容] 主として、添削課題・面接指導によって、自分の好きなことや得意なことを整理し、他者と共有して価値観の違いを知る。	/	/	/	事前課題 + 事後課題	4/14~8/31								
ワークショップ	実施日			5/15	6/12	7/8	7/10	8/27	総合的な探究の時間Ⅰ前期①				

教科	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間	授業名	総合的な探究の時間Ⅰ 後期	単位数	1	履修期間	後期	履修年次	1	年次
----	-----------	-----	-----------	-----	---------------	-----	---	------	----	------	---	----

指導目標												
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の課程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。												

教科書	なし			メディア教材	なし							
-----	----	--	--	--------	----	--	--	--	--	--	--	--

単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：事前課題および事後課題を締め切りまでに提出し、合格する必要があります。 2. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席する必要があります。												

単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (なし) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導
自己理解と社会のつながり 身近な職業と社会のつながり [内容] 主として、添削課題・面接指導によって、仕事の種類や社会とのつながりを学び、自分が興味のある職業について考える。	/	/	/	事前課題 + 事後課題	9/1~12/31	
ワークショップ			実施日			総合的な探究の時間Ⅰ後期①

教科	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間	授業名	総合的な探究の時間Ⅱ 前期	単位数	1	履修期間	前期	履修年次	2	年次
指導目標												
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の課程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。												
教科書	なし			メディア教材	なし							
単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：事前課題および事後課題を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。												
単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												
学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (なし) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)						
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導						
キャリアと社会課題 働き方とキャリア [内容] 主として、添削課題・面接指導によって、仕事を選ぶ際に大切な要素を考え、自分の価値観に合ったキャリアプランを作成する。	/	/	/	事前課題 + 事後課題	4/14~8/31							
ワークショップ			実施日	5/22	6/19	7/15	7/17	8/27	総合的な探究の時間Ⅱ 前期①			

教科	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間	授業名	総合的な探究の時間Ⅱ 後期	単位数	1	履修期間	後期	履修年次	2	年次
----	-----------	-----	-----------	-----	---------------	-----	---	------	----	------	---	----

指導目標												
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の課程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。												

教科書	なし			メディア教材	なし							
-----	----	--	--	--------	----	--	--	--	--	--	--	--

単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：事前課題および事後課題を締め切りまでに提出し、合格する必要があります。 2. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席する必要があります。												

単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (なし) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)	
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導	
キャリアと社会課題 社会課題と仕事 [内容] 主として、添削課題・面接指導によって、社会課題を学び、それに関連する仕事について考え、自分が関心のあるテーマをまとめる。	/	/	/	事前課題 + 事後課題	9/1~12/31		
ワークショップ			実施日				総合的な探究の時間Ⅱ後期①

教科	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間	授業名	総合的な探究の時間Ⅲ 前期	単位数	1	履修期間	前期	履修年次	3	年次
----	-----------	-----	-----------	-----	---------------	-----	---	------	----	------	---	----

指導目標												
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の課程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。												

教科書	なし			メディア教材	なし							
-----	----	--	--	--------	----	--	--	--	--	--	--	--

単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：事前課題および事後課題を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。												

単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (なし) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)					
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導					
探究と未来設計 社会課題と解決策を探る [内容] 主として、添削課題・面接指導によって、社会課題を調べ、解決策を学び、レポートやプレゼンで考えを表現する。	/	/	/	事前課題 + 事後課題	4/14~8/31						
ワークショップ			実施日	5/29	6/26	7/29	7/31	8/27	総合的な探究の時間Ⅲ前期①		

教科	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間	授業名	総合的な探究の時間Ⅲ 後期	単位数	1	履修期間	後期	履修年次	3	年次
----	-----------	-----	-----------	-----	---------------	-----	---	------	----	------	---	----

指導目標												
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の課程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。												

教科書	なし			メディア教材	なし							
-----	----	--	--	--------	----	--	--	--	--	--	--	--

単位修得条件												
1. 添削指導（レポート）：事前課題および事後課題を締め切りまでに提出し、合格することが必要です。 2. 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1回以上出席することが必要です。												

単位修得（認定）評価												
添削課題の成績、面接指導における姿勢・態度を総合的に評価し判断する。												

学習内容等	該当箇所 (ページ)	メディア教材利用 (なし) 【報告課題提出〆切】		添削課題		面接指導 (スクーリング)
	教科書	視聴内容	報告課題	レポート	提出期間 (〆切)	対面指導
探究と未来設計 自分のキャリアに関連する社会課題を考える [内容] 主として、添削課題・面接指導によって、社会課題を学び、将来目指す職業に関連する社会課題を調べ、解決に向けたアプローチを考え、レポートやプレゼンで表現する。	/	/	/	事前課題 + 事後課題	9/1~12/31	
ワークショップ			実施日			総合的な探究の時間Ⅲ後期①